香川県
臨床研修・専門研修
GUIDE BOOK

かさねる かがわ
かさなる かがわ

かがやくけん、かがわけん。
香川県

かさねる かがわ
かさなる かがわ

気候が穏やかで災害が少ない香川県。
日本一小さい県だからこそ、交通インフラが充実し
都市の持つ利便性と豊かな自然が調和しています。
暮らしやすい環境と
伝統・食・アートなど、豊かな文化に恵まれた香川県には
医師としての研修だけでなく、さまざまな体験や出会いが待っているはず。
香川県で、経験を、知識を、思いを重ねてください。

CONTENTS

TOP MESSAGE p.02
研修病院MAP p.02
KAGAWA GUIDE p.03
研修病院紹介 p.05 – p.48
香川県の臨床研修・専門研修に関する取り組み p.49

	臨床研修	専門研修																
		内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療
1 香川大学医学部附属病院 p.05 – p.12	● p.06	● p.07	● p.09	● p.09	● p.09	● p.08	● p.10	● p.09	● p.11	● p.11	● p.10	● p.10	● p.11	● p.11	● p.12	● p.12	● p.10		● p.12
2 香川県立中央病院 p.13 – p.16	● p.14	● p.15					● p.16	● p.16										● p.16	● p.16
3 高松赤十字病院 p.17 – p.20	● p.18	● p.19				● p.20													
4 高松市立みんなの病院 p.21 – p.24	● p.22	● p.23																	
5 香川労災病院 p.25 – p.28	● p.26	● p.27																	
6 四国こどもとおとなの医療センター p.29 – p.32	● p.30		● p.31											● p.32					
7 三豊総合病院 p.33 – p.36	● p.34	● p.35																	● p.36
8 総合病院 回生病院 p.37 – p.40	● p.38						● p.39									● p.40			
9 高松平和病院 p.41 – p.44	● p.42																		● p.43
10 KKR 高松病院 p.45 – p.46		● p.46																	
11 こころの医療センター五色台 p.47 – p.48					● p.48														

TOP MESSAGE

知事からのメッセージ

香川県知事　池田 豊人

香川県の臨床研修病院や専門研修施設に関心をお寄せいただき、ありがとうございます。

私は、県民の皆様の安全な暮らしを守り、香川県を発展させていくため、「人生100年時代のフロンティア県へ」をスローガンに、大事なものを「まもる」、新しいものを「つくる」、「誰一人取り残さない」の3つの理念のもと、本県の将来のために必要な施策に積極的に取り組んでいます。

中でも、地域において切れ目のない医療の提供を実現することにより、良質かつ適切な医療を持続可能な形で効率的に提供する体制を確保するよう努めているところです。

とりわけ、医師確保については、医師を目指す高校生、医学生、研修医、専攻医、指導医といったキャリアステージに応じて、きめ細かな支援を実施しています。その一つとして、県内全ての基幹型臨床研修病院で組織する「香川県臨床研修病院協議会」において、「オールかがわ」で、臨床研修病院の魅力を発信しており、これらの臨床研修病院を医学生が見学する際には旅費を支援する制度を設けています。また、県内の専門研修プログラムに参加する専攻医に対して、研修資金の貸付けや「香川県医師育成キャリア支援プログラム」による研修奨励金の支給といった支援も行っています。

さらに、勤務環境の改善など、医師の皆さんが安心して働ける環境づくりにも取り組んでいるところです。

香川県において、医師としてスタートされる皆さんが、本県に愛着を感じていただき、いきいきとやりがいをもってキャリアアップされますよう心から願っています。

研修病院 MAP

KAGAWA GUIDE

**温暖な気候と風土に恵まれた、魅力いっぱいの香川県で
あなたの医師としての第一歩をスタートしませんか？**

Scenery
風景

日本一小さな県・香川県は、都市部と郊外が近いのが特長です。便利で充実した生活圏から少し足をのばせば、海、山、さまざまな景観が楽しめます。大小の島々が浮かぶ瀬戸内海の多島美や、円錐形の山が点在する讃岐平野ののどかな風景は、香川ならではの魅力。ウユニ塩湖のような鏡面状態となる父母ヶ浜も人気です。

父母ヶ浜

瀬戸内海の夕日

讃岐平野と飯野山

Food
食

香川県といえば、「さぬきうどん」。ですが、それだけではありません。海の幸、山の幸、どちらにも恵まれた香川は、おいしいものであふれています。瀬戸内の魚介類、小豆島のオリーブ、温暖な気候で育つ上質の果物…。伝統の郷土料理から、絶品スイーツ、ご当地グルメまで、香川の味覚はバリエーション豊富です。

さぬきうどん

オリーブ牛

香川県
オリジナル品種
「さぬきひめ」

オリーブハマチ

Art
アート

アート県として注目されている香川県。3年に一度開催される「瀬戸内国際芸術祭」には、国内外から多くの人が訪れます。個性的な美術館やパブリックアートも多く、戦後間もない頃から名建築が次々と建てられ、見応えのある建物が点在していることでも知られています。アート環境が、感性に心地よい刺激を与えてくれます。

大巻伸嗣作「Liminal Air -core-」（高松港）

藤本修三作「八人九脚」（瀬戸大橋記念公園）

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

Tradition
伝統

江戸時代には高松藩と丸亀藩の城下町として、文化や伝統美、産業技術が育まれてきました。お庭の国宝と呼ばれる特別名勝に指定されている栗林公園をはじめ、石垣が見事な丸亀城、古戦場として有名な屋島など、名所旧跡に事欠かない香川県。金刀比羅宮や総本山善通寺など、名高い神社仏閣も多くあります。また、各地に残る祭りや伝統工芸は、郷土の人たちの誇りとなっています。

特別名勝 栗林公園

ちょうさ祭り

張子虎

香川漆器

数字で見る香川県

気候
平均気温
（高松市・2021年）
17.3℃
資料:気象庁
1年を通じて過ごしやすい気候。降雪量も少なく平野部での積雪はほとんどありません。

災害
地震発生回数
2回
全国 375回
資料:気象庁「震度データベース」
1992年～2021年（過去30年間）震度5弱以上の地震発生回数です。

災害が少なく、比較的安全な地域です。

道路
道路舗装率
99.9%
全国 4位
出典:100の指標からみた香川（令和4年版）

砂利道のような未舗装の道が少なく、整備された走りやすい道路が多くあります。

空路
東京までの時間
約1時間20分

高松空港は高松市中心部から車で約30分。東京へ1日約15往復運行しています。

高松空港

ショッピング
大型小売店数
（人口10万人当たり）
8.8店
全国 1位
出典:100の指標からみた香川（令和4年版）

外食
飲食店数
（人口1,000人当たり）
4.17店
全国 11位
出典:100の指標からみた香川（令和4年版）

丸亀町グリーン

教育
図書館館外貸出点数
（人口100人当たり）
629点
全国 4位
出典:100の指標からみた香川（令和4年版）

子育て
地域子育て支援拠点設置か所数
（乳幼児人口1,000人当たり）
2.58か所
全国 6位
出典:100の指標からみた香川（令和4年版）

地域の子育て支援センターなど、子育てに関する相談、情報提供、交流などを行う場が充実しています。

一の宮公園

公園等
都市公園等面積
（都市計画区域内等人口1人当たり）
19.18㎡
全国 7位
出典:100の指標からみた香川（令和4年版）

専門研修 1 臨床研修

香川大学医学部附属病院

▶http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数	613床
年間手術数	5,228件
医師数	361人 ※研修医除く 指導医 176人 研修医 38人 （協力型病院研修中21人）
1日の平均患者数	外来 989.6人 入院 438.0人 救急 8.7人

所在地	香川県木田郡三木町池戸1750-1
開設年	1983年（昭和58年）
開設者	国立大学法人香川大学
院長名	門脇　則光
診療科目	内分泌代謝内科、血液内科、膠原病・リウマチ内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、抗加齢血管内科、消化器内科、脳神経内科、総合内科、腫瘍内科、皮膚科、精神科神経科、小児科、周産期科女性診療科、心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、小児外科、整形外科、泌尿器・副腎・腎移植外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔・ペインクリニック科、形成外科・美容外科、病理診断科・病理部、リハビリテーション科、臨床遺伝ゲノム診療科、歯・顎・口腔外科、救命救急センター

Access Map

【交通】
◎ことでん高田駅からバスで約5分
◎高松東ICから車で約3分

病院の特徴

新病棟（南病棟）

新手術棟

本院は、[ささえる、つながる、リードする]というキャッチフレーズのもと、最新、最良の治療を安心・安全に患者さんに提供することを追求しています。

病院再開発・改修工事が2018年度に完了し、南病棟には、1階に高度救命救急センター機能を集約し、救急玄関、初療室、CT、MRI、血管造影施設、病室が直結した機動性の高いセンターを整備しています。3階には心臓血管センターを整備し、高水準、総合的な診療が可能となっています。また、南病棟7階無菌エリア（クリーンルーム7室中、清浄度クラス100を5室）を設置し、より安全で、高度な移植医療が実施できる環療が整っています。入院患者数に対する手術者数の割合が全国国立大学病院においてトップクラスであり、手術数増加に対応する為、手術棟を新たに整備しています。内視鏡手術支援ロボット（ダヴィンチ）対応手術室、ハイブリッドアンギオ手術室、術中MRIシステム手術室、内視鏡対応手術室が設置され、高度の手術設備を有しています。東西の病棟も改修が完了し、2017年11月より、改修後の西病棟5階に卒後臨床研修センターが移転しています。よりよい研修環境の整備が研修の質の向上につながっています。医師育成機関として優れた医療人の育成が本院の使命です。志の高い研修医・医学生諸君を心より歓迎します。

研修責任者からのMessage　門脇　則光　病院長・卒後臨床研修管理委員会委員長・血液内科教授　京都大学卒／鳥取県出身

本院の最大の特長は、自由度の高いプログラムです。一人ひとりの目標・希望に沿った研修プログラムを提供するために、研修医と個別面談を行い、きめ細やかに研修プランを調整しています。

“MANDEGAN・まんでがん”とは、讃岐弁で「全部、限界まで」という意味であり、研修医の希望を「まんでがん」実現させたいという意味で名付けています。

研修環境の充実に努めており、センタースタッフが日常的に研修生活のサポートを行っており、在籍する研修医からは非常に好評です。

2年間の卒後臨床研修修了後の専門研修にシームレスにつながるような研修となるように、サポートを心がけています。

本院での卒後臨床研修プログラムに多くの皆さんが参加されることを楽しみにしています。

臨床研修プログラム

プログラムの特徴

本院MANDEGANプログラムでは、必修研修の診療科を院内または希望する基幹型臨床研修病院を含む協力型病院で研修し、地域医療については200床未満の協力型病院において、幅広い研修が可能です。大学病院における先進医療の経験、協力型病院でのCommon diseaseの経験は医師育成に教育効果を発揮します。

本院のプログラムの最大の特長は、将来希望する診療科研修を早期にローテーションすることで、専門研修にシームレスにつながるオーダーメイド研修プランの策定が可能な点です。研修医の教育については、セミナー等各種の講習会、診療科の研修においては症例検討を始めとし診療スキルの修得、学会発表の経験等、さまざまな教育の機会を提供しています。

また、本センタースタッフが研修医へのきめ細やかなサポートを行うとともに、各研修医の将来の目標・夢に向けたスキルアップ・キャリアアップを通じて、優れた臨床医を育成することをめざします。

自習ルーム（PC室）

研修医休憩室

連携施設
香川県立中央病院、高松赤十字病院,高松市立みんなの病院、香川労災病院
四国こどもとおとなの医療センター、三豊総合病院、総合病院回生病院
高松平和病院、さぬき市民病院、白鳥病院、小豆島中央病院、いわき病院
馬場病院、三光病院、キナシ大林病院、屋島総合病院、香川県済生会病院
KKR高松病院、高松医療センター、りつりん病院、三船病院
こころの医療センター五色台、聖マルチン病院、坂出市立病院、滝宮総合病院
三豊市立みとよ市民病院、陶病院、西香川病院、厚仁病院、西紋病院、クワヤ病院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	大学病院									A病院		
2年次	B病院						C病院					

募集要項

［募集予定数］49人（MANDEGANプログラム:43人、小児科プログラム:4人、産婦人科プログラム:2人）
［応募資格］①医師免許取得者又は医師国家試験の受験予定者
②医師臨床研修マッチング参加者IDの取得（見込）者
［選考方法］書類選考、面接試験
［待　遇］【給与】日給
〈1年目〉12,000円（約400万/年 時間外・当直手当込み）
〈2年目〉13,500円（協力型病院の給与体系となることが多いです）
【手当】通勤手当、時間外手当、当直手当
（3か月以上、協力型病院にて研修の場合、協力型病院の雇用となり、病院ごとに待遇が異なります）
［社会保障］健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
［勤務時間］基本的な勤務時間　8:30～17:15
［当　直］本院:希望により当直あり（1回16,000円）
協力型病院:当直あり
［宿　舎］研修医は、香川大学が所有している宿舎に入居することが可能です。ただし、希望者が多数の場合、抽選となる場合があります。（一部改装工事中）
［その他］有給休暇:1年次10日、夏季休暇:3日

臨床研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先
〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1
香川大学医学部総務課 卒後臨床研修センター担当
TEL:087-891-2009　FAX:087-891-5665
http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~sotsugo/index.html

研修医からのMessage　向井　健人　香川大学卒／香川県出身　2年目

初期研修は2年間という限られた期間で様々な診療科をまわり、将来進む道を決めなければなりません。MANDEGANプログラムでは、自分の希望を最大限に反映させたローテーションプログラムを組むことができます。興味のある診療科を中心に自分だけの研修プログラムを作成できます。そのため、3年目を見据えた研修ができ、スムーズに専門研修につなげることができます。この点がMANDEGANの一番の強みだと感じています。また、大学病院内だけではなく、県内の協力型病院での研修も可能であり、それぞれの病院の強みも経験することができます。どの診療科の先生方も熱心にご指導してくださり、さまざまな経験をさせていただけます。毎日充実した日々を送っており学ぶことも多いです。皆さんも是非一緒に充実した研修を送りましょう。

専門研修 1 臨床研修

香川大学医学部附属病院　専門研修プログラム

「内科」「小児科」「皮膚科」「精神科」「外科」「整形外科」「産婦人科」「眼科」「耳鼻咽喉科」「泌尿器科」「脳神経外科」「放射線科」「麻酔科」「病理」「救急科」「形成外科」「総合診療」の17つのプログラムを提供しています。

募集要項

［募集予定数］詳しくは、各診療科にご相談ください
［応 募 資 格］2023年3月初期研修修了予定者もしくは初期臨床研修修了者
［選 考 方 法］書類審査（診療科により面接試験等を行う場合もあります）
［ 待　　遇 ］非常勤医師（医員）
【給与】日給15,000円（月額約300,000円）
【賞与】無　【時間外手当】有

［社 会 保 障］健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
［勤 務 時 間］月～金 8:30～17:15の週38.75時間勤務
［ 宿　　舎 ］香川大学が所有している宿舎に入居することができます
［そ　の　他］有給休暇:1年次10日、夏季休暇:3日
その他の休暇:無給休暇（産前産後休暇、病気休暇等）

— 専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先 —
〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1　香川大学医学部総務課臨床教育研修支援係（医師キャリア支援センター担当）
TEL:087-891-2478（ダイヤルイン）（内線2205）　メール:isikyaria-m@kagawa-u.ac.jp　http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~isikyaria/

指導医からのMessage

正木 勉　医師キャリア支援センター長・消化器内科教授　香川医科大学卒／香川県出身

香川大学医学部附属病院では、臨床教育研修支援部に設置された学部学生を主な対象とする地域医療教育支援センター、卒後1、2年目を対象とする卒後臨床研修センター、卒後3年目以降が対象の医師キャリア支援センターが連携してシームレスな教育体制を構築しています。

また、医師キャリア支援センターと各診療科が17の基本領域において専門研修プログラムを整備しており、香川県全域および県外の豊富な専門研修連携施設と協力して、専攻医の専門医資格取得を含めキャリア形成を細かく支援しています。

画一的な枠組みだけでなく、各専攻医の希望や事情に配慮した個別対応もスタッフが協力して柔軟に行っています。県内各地域の医療の均てん化と充実を目指し、優秀で人間性豊かな専門医の育成が我々の使命です。

内科プログラム

内分泌代謝内科／血液内科／膠原病・リウマチ内科／呼吸器内科／循環器内科／腎臓内科／抗加齢血管内科／消化器内科／脳神経内科／総合内科／腫瘍内科

プログラムの特徴

［目的と特徴］

●専門医として内科領域全般にわたる最新かつ高度な診療能力を修得
⇒ 内科系の全11診療科が協力し、充実した専門研修を実現しています。

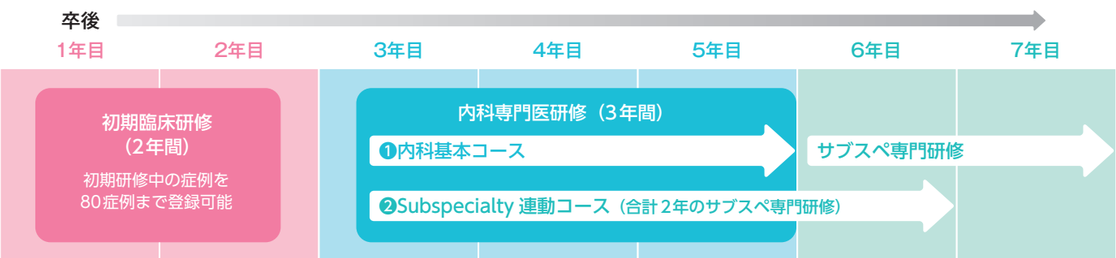
●全人的な内科診療や地域医療に貢献できる内科医を育成
⇒ 香川県下全域にまたがる33の豊富な連携施設で研修できます。

●自由度の高い2つのコース（❶内科基本コース、❷Subspecialty連動コース）から選択
⇒ Subspecialty領域の専門医もスムーズに取得できます。

●医師キャリア支援センターが資格取得をサポート
⇒ 経験症例数や講習会受講など一人ひとりの研修をマネージメントします。

連携施設

香川県立中央病院、高松赤十字病院、高松医療センター
香川県済生会病院、屋島総合病院、りつりん病院、KKR高松病院
キナシ大林病院、高松平和病院、さぬき市民病院、小豆島中央病院
香川県立白鳥病院、香川労災病院、坂出市立病院、総合病院 回生病院
坂出聖マルチン病院、滝宮総合病院、宇多津病院、三豊総合病院
高松市民病院塩江分院、三豊市立みとよ市民病院、倉敷中央病院
四国こどもとおとなの医療センター、国立循環器病研究センター
大阪ろうさい病院、住友病院、りんくう総合医療センター、東大阪医療センター
兵庫県立はりま姫路総合内科医療センター、川崎医科大学附属病院
神戸市立医療センター中央市民病院、兵庫県立尼崎総合医療センター
大阪赤十字病院、大阪急性期・総合医療センター、道後温泉病院
徳島赤十字病院、高知医療センター、関西医科大学附属病院、HITO病院
山梨県立中央病院、大阪医科薬科大学附属病院



❶内科基本コース
高度なGeneralistを目指す方、将来のSubspecialtyが未定な場合に選択します。内科領域を偏りなく学ぶことを目的としており、原則として2年間は基幹施設ですべての内科系診療科をローテーションします。残りの1年間は連携施設で地域医療を経験します。

❷Subspecialty連動コース（合計2年のSubspecialty領域連動研修が可能）
内科領域全般のみならず、将来希望するSubspecialty領域に重点をおいた研修を行い、Subspecialty専門医をスムーズに取得することができます。1年間は基幹施設で内科系診療科をローテーションし、残りの2年間でSubspecialty領域の専門研修を連動して行います（連携施設2年コースor連携施設1年コース）。

外科専門研修プログラム

心臓血管外科／消化器外科／呼吸器外科／乳腺内分泌外科／小児外科

プログラムの特徴

［目的と特徴］

❶専攻医が医師として必要な診療能力を習得すること
❷専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
❸専攻医としての知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる専門医になること
❹外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
❺外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門医取得へ連動すること

連携施設

香川県立中央病院、高松赤十字病院、三豊総合病院、KKR高松病院
坂出市立病院、香川県済生会病院、りつりん病院、さぬき市民病院
四国こどもとおとなの医療センター、屋島総合病院、滝宮総合病院
香川県立白鳥病院、香川労災病院、高知医療センター
神鋼記念病院、加古川中央市民病院、国立がん研究センター東病院
総合病院聖隷三方原病院、国立がん研究センター中央病院
四国中央病院、赤穂市民病院

●外科専門医は初期臨床研修修了後3年（以上）の専門研修で育成され、各年にはそれぞれ医師として求められる基本的診療能力・態度と専門医に求められる知識・技術の達成目標を設定、年度終了時には評価を行い、外科専門医として実力を確実につけられるように配慮します。

●大学病院では稀少疾患・治療困難例を、連携施設ではCommon diseaseや地域医療を経験でき、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能です。

●**サブスペシャリティー領域専門研修**は、外科専門研修の必要症例数を満たしたうえで、希望領域の症例を多く経験できるよう配慮します。

●**大学院コース**では大学院に進学し、臨床研究または基礎研究を開始します。

香川大学医学部附属病院 専門研修プログラム

皮膚科研修プログラム

プログラムの特徴

香川大学医学部および日本皮膚科学会が定める研修プログラムに則り、研修を行います。初期研修では、可能な限り当院皮膚科で研修し、外来や病室など診療現場の雰囲気を肌で感じてもらえれば幸甚です。専門研修では、当科に入局の上、外来や入院診療に従事します。

ありふれた皮膚疾患のプライマリケアの他、市中病院では実施困難な最先端の検査や治療を行います。

当科には、高度な専門資格を持った先輩医師がおり、困った時に迅速なアドバイスを得られます。

研修期間での幅広く、困難な症例の経験は、その後の医師としての人生に必ずプラスになります。

その他、当院形成外科（皮膚科手術手技）、高松赤十字病院などの関連市中病院、地域医療での研修も可能ですので、ご相談ください。

所定の研修（最短5年）の最終年度に、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医試験を受験できます。

その後、さらに高度な専門資格を取得することが可能です。

連携施設

京都大学医学部附属病院、九州大学病院、キナシ大林病院
聖マルチン病院、徳島県鳴門病院、本院形成外科、小豆島中央病院
さぬき市民病院、香川県済生会病院、高松赤十字病院、
MIRAI病院、永生病院

精神科専門医研修プログラム

プログラムの特徴

本プログラムには13の連携施設があり、県内の主要な精神科病院が参加しています。四国こどもとおとなの医療センターには全国でも少ない児童精神科病棟があります。また西香川病院は認知症治療をメインとしているモデル的施設です。このように連携施設は多岐にわたっています。

専攻医は希望に応じて研修先を柔軟に選択することができ、多くの症例を経験することができます。下記はローテーションの1例で、専攻医の様々なニーズに応じた研修を提案できます。

週間スケジュール（例）

	月	火	水	木	金
午前	外来研修	外来研修	カンファレンス 病棟回診	外来研修	外来研修
午後	病棟診察、往診	病棟診察、往診	医局会 病棟診察、往診	病棟診察、往診	病棟診察、往診

連携施設

小豆島病院、三光病院、馬場病院、いわき病院
こころの医療センター五色台、三船病院、丸亀病院
四国こどもとおとなの医療センター、西香川病院、大西病院、清水病院
しおかぜ病院、牧病院

整形外科専門研修プログラム

プログラムの特徴

整形外科医は外傷性疾患の治療だけではなく、加齢、スポーツ活動、リウマチをはじめとする全身性疾患、腫瘍性疾患、脊椎疾患などあらゆる運動器疾患に対応できることが求められます。運動器疾患に対する科学的知識と深い洞察力を身につけ、人間性豊かで高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する整形外科医学の基礎および臨床の新しい情報探知能力と、実践で応用できる幅広い基本的な臨床能力を身につける必要があります。

多様な疾患に対する専門技能を研修するために、整形外科専門研修は1ヵ月の研修を1単位とする単位制をとり、全カリキュラムを脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、リハビリテーション、スポーツ、地域医療、小児、腫瘍の10の研修領域に分割し、専攻医が基幹病院および連携病院を機能的にローテーションすることで、それぞれの領域で定められた修得単位数以上を修得し、4年間で48単位を修得する修練プロセスで 研修します。

連携施設

高松市立みんなの病院、高松赤十字病院、香川県立白鳥病院
さぬき市民病院、香川県済生会病院
りつりん病院、坂出市立病院、小豆島中央病院、高松医療センター
広瀬病院、キナシ大林病院、オサカ病院
岩崎病院、田中整形外科病院

形成外科研修プログラム

プログラムの特徴

香川大学形成外科・美容外科は、全国の国立大学の中で、もっとも早期に設立された講座の一つです。当科における診療内容は多岐にわたり、頭頸部や乳がんを切除した後の再建・生まれつきの変形を修正する手術・熱傷や顔面のケガなどの治療・美容外科など、およそ体の形を整えるためのほとんどの治療技術を習得することができます。また、レーザーによるアザやシミなどの治療も数多く行っております。

当科の特長は、あばら骨や乳房など胸部の変形に特に力を入れている点で、この領域においては全国に数ある形成外科の中でもトップです。このため周辺地域からのみでなく、関西地方を中心に全国から患者さんが受診されます。また当科は、糖尿病患者が多いという香川県の地域的な特性にかんがみ、糖尿病性血管障害に起因する下肢病変の治療にも特に力をいれています。

さらに当科においては「早期からの実践」をモットーに、非常に早い時期から実際に術者として執刀していただきます。例えば遊離組織移植に必要な、1～2ミリの血管を縫合する手技は、本人の熟達の度合いを測りながら、早い場合には卒後3年目で指導医の監督のもとに行っていただきます。こうした配慮を行うので、30歳前後にはほぼすべての形成外科手術が行えるようになることが、本プログラムの特徴です。

連携施設

香川県立中央病院、高松赤十字病院、三豊総合病院
いがわ医院、まるがめ医療センター、さぬき市民病院

小児科専門研修プログラム

プログラムの特徴

「楽しくなければ小児科ではない」と語れる、小児科医を育成します。

小児科医は子どもたちの総合医です。「成熟する小児科医」として子どもと、家族と、仲間と共にその成長を喜ぶ小児科医師育成を行うことを目標とします。このため地域医療と国際医療貢献の双方に視点を持つ、人間的に成熟した人材育成を心掛けます。そして将来の小児科専門医を取得後、各個人の専門分野を開拓することもサポートします。

週間スケジュール（例）

	月	火	水	木	金
午前	病棟/外来	病棟/外来	病棟/外来	病棟/外来	回診 病棟/外来
午後	病棟/外来	回診 病棟/外来	病棟/外来	病棟/外来	病棟/外来
セミナー等	朝:カンファレンス 当直（担当時）	朝:レクチャー 当直（担当時）	朝:カンファレンス 当直（担当時）	朝:抄読会 当直（担当時）	朝:カンファレンス 当直（担当時）

取得可能なサブスペシャルティ

小児神経専門医、小児循環器専門医、小児血液・がん専門医、周産期専門医（新生児）

連携施設

三豊総合病院、さぬき市民病院、小豆島中央病院、井下病院、白鳥病院
四国こどもとおとなの医療センター、香川県立中央病院、坂出市民病院
香川県済生会病院、屋島総合病院、りつりん病院、かがわ総合リハビリテーション病院
松原病院、岡山医療センター、東京都立小児総合医療センター

産婦人科研修プログラム

プログラムの特徴

女性医学に関するプライマリー疾患や不妊診療については、関連病院での研修を取り入れることで充実させています。産婦人科研修では、僻地医療が義務付けられており、小豆島中央病院およびさぬき市民病院での研修がこれに相当します。ベテランの指導医のもとで、安心して離島における産科婦人科医療を実践する事が可能となっております。また研修に変化を持たせるために、希望により北海道（札幌東豊病院）、大阪（国立循環器病研究センター病院、りんくう総合医療センター）等県外での研修も実施しております。その他、サブスペシャリティ研修を視野に入れた研修も考慮しており、県内外の最先端の専門医療施設での研修も行います。

男女を問わず、研修時もしくは研修後の妊娠・出産・育児と研修が両立できる様に個々の事情に応じたバックアップ体制を整えており、結婚やパートナーの転勤等で他府県に異動の時も全面的な支援をお約束いたします。

取得可能なサブスペシャルティ

周産期（母体・胎児）専門医、超音波専門医、婦人科腫瘍専門医
女性医学専門医、内視鏡手術技術認定医

連携施設

香川県立中央病院、高松赤十字病院、屋島総合病院
四国こどもとおとなの医療センター、さぬき市民病院、小豆島中央病院、厚仁病院
松山赤十字病院、四国がんセンター、国立循環器病研究センター病院
りんくう総合医療センター、札幌東豊病院

泌尿器科専門研修プログラム

プログラムの特徴

我々の専門研修プログラムでは、「独り立ちできる泌尿器科医」になるための方法を常に考えています。キャリアアップのさまざまな段階でいろいろな選択肢を提示し、可能性を広げる教育を実践しています。

基幹施設である香川大学医学部附属病院やその関連施設において高度な医療に携わり本邦の標準治療や先進的な医療を経験し学ぶとともに、地域医療を担う連携病院での研修を経て香川県の医療事情を理解し、将来は泌尿器科専門医として香川県全域を支える人材の育成を行うことを目的としています。また、泌尿器科におけるサブスペシャリティ領域（透析・泌尿器科癌手術・小児泌尿器科・女性泌尿器科など）の研修も考慮して専門性の高い研修施設（川島病院・神戸市立医療センター中央市民病院・倉敷中央病院など）とも専門研修施設群を構成する事で、地域医療と専門医療の両面へ配慮されたバランスのよい優れた泌尿器科専門医の育成を行うプログラムとなっています。

連携施設

坂出市立病院、KKR 高松病院、香川県済生会病院、三豊総合病院
滝宮総合病院、香川労災病院、香川県立中央病院、香川県立白鳥病院
キナシ大林病院、小豆島中央病院、川島病院、水島協同病院、倉敷中央病院
姫路医療センター、京都医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院
関西医科大学付属病院、兵庫医科大学病院、宝塚市立病院

脳神経外科専門研修プログラム

プログラムの特徴

当施設の専門研修プログラムでは、「脳神経外科 専門医」を目指して、附属病院脳神経外科および救命救急センター、さらに連携・関連病院において個々の研修医に応じた最適な環境の中で数多くの症例を経験することで、「全身的管理」と「脳神経外科疾患の的確な診断・検査」、さらに「基本的脳神経外科手術」を修得します。さらに、これと並行して「基礎的・臨床的研究、学会発表、論文作成」も行います。症例検討会や他科との合同カンファレンス、病棟カンファレンスにおいて、個々の症例について十分に学習することができます。専門医取得後は、脳神経外科専門医を取得するのみならず、細分化した専門医（脳卒中専門医、血管内治療専門医、救急専門医、神経内視鏡技術認定医）の取得や、大学院に属し学位の取得も可能となっています。また、海外留学や他施設への国内留学も積極的に行い、優秀な脳神経外科医を育成することを目標としています。

連携施設

高松赤十字病院、三豊総合病院、おさか脳神経外科病院
片木脳神経外科、香川県立中央病院、香川労災病院
四国こどもとおとなの医療センター、さぬき市民病院、滝宮総合病院
りつりん病院、岡山大学医学部附属病院、岡村一心堂病院
野市中央病院、国立病院機構岩国医療センター、MIRAI病院

香川大学医学部附属病院 専門研修プログラム

眼科専門研修プログラム

プログラムの特徴

香川大学眼科では、県内だけでなく、近隣県からも紹介患者があり、手術件数は内眼手術1,500件、外眼手術50件、レーザー手術350件、硝子体注射数は5,000件と、眼科専門研修に必要かつ十分な症例数・手術件数を有し、網膜硝子体・ぶどう膜グループと緑内障グループを中心に各専門領域の責任者が指導医となり、指導にあたっています。

院内には周産期母子医療センター等も備わり、他科と連携してあらゆる全身疾患に関わる眼症状も研修可能です。専門研修基幹施設である当院と連携施設において、眼科専門医を取得することを目標とし、各施設の特徴を活かした眼科研修を行い、さまざまな疾患や手術を経験できます。香川大学の社会人大学院に進学し、研修を行いながら研究を行うことも可能です。

専攻医の希望になるべく沿ったプログラムを構築し、いずれのコースを選んでも研修到達目標に達することができるようローテーションを調整し、また、専攻医間で格差がつかないような工夫もしています。

連携施設
香川県立中央病院、りつりん病院、香川県済生会病院
高松赤十字病院、三豊総合病院、白井病院、坂出市立病院
屋島総合病院、倉敷中央病院、大阪赤十字病院
（関連病院）小豆島中央病院、さぬき市民病院

うどん県耳鼻咽喉科専門研修プログラム

プログラムの特徴

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では聴覚、嗅覚、味覚、嚥下、発声など人間が人間らしく生きる上で最も基本的で重要な機能を扱っています。また、耳下腺・顎下腺・甲状腺疾患、さらには頭頸部癌の診断治療も専門とします。内科的、外科的側面の両面からアプローチできる科であり、先天性難聴や突発性難聴などの聴覚障害、めまい平衡障害、花粉症をはじめとする免疫アレルギー疾患などの内科的な加療を行う一方、中耳手術をはじめとするマイクロサージェリー、鼻副鼻腔の内視鏡手術、音声改善手術などの精密な手術や、頭頸部腫瘍の手術などの様々な外科的治療も行っています。疾患や手技も多岐にわたるため、自分の興味や体力、能力に応じて自分に適した分野を見つける事ができます。

外科系のなかでの特徴としては、早期より手術の執刀経験を積める事です。鼓膜チューブ留置術や口蓋扁桃摘出術、気管切開術など耳鼻科基本手術は1年目より術者として執刀することができます。また、顕微鏡や内視鏡を使用しての手術は高齢になっても可能であり、外科医としての寿命も長いといえます。

連携施設
高松赤十字病院、香川県立中央病院、坂出市立病院、三豊総合病院、香川労災病院
大阪大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、大阪府立急性期・総合医療センター、大阪国際がんセンター
大阪ろうさい病院、関西労災病院、大阪医療センター、八尾市立病院、市立豊中病院、大阪警察病院
市立吹田市民病院、市立東大阪医療センター、地域医療機能推進機構大阪病院、市立池田病院
県立西宮病院、堺市立総合医療センター、大手前病院、住友病院、大阪府立呼吸器・アレルギー総合医療センター
近畿中央病院、箕面市立病院、大阪母子医療センター、隈病院 、関西メディカル病院、さぬき市民病院、小豆島中央病院

病理専門研修プログラム

プログラムの特徴

病理診断科では指導体制が充実しており、病理診断における幅広い知識や能力を身につけることができます。修得できる資格には、病理専門医、細胞診専門医、死体解剖資格があります。

本プログラムでは、香川大学医学部附属病院病理診断科を基幹型施設とし、連携施設をローテートして病理専門医資格の修得を目指します。組織診断は全臓器を診断し、当科に所属する病理専門医によるマンツーマンでの指導が受けられます。細胞診専門医修得についても同様です。病理解剖は院内症例を含め県下複数の関連病院の解剖を担当しており、専門医修得に必要な症例数が確保されています。

現在まで10人以上の病理専門医が育っており、教育研修病院としての実績も十分あります。本病理専門研修プログラムにぜひ参加し、知識のみならず技能や態度にも優れたバランス良き病理専門医を目指してください。

連携施設
高松赤十字病院、住友別子病院、高松平和病院
高松市立みんなの病院、四国こどもとおとなの医療センター
済生会今治病院、回生病院、坂出市立病院、KKR高松病院
さぬき市民病院、坂出聖マルチン病院、屋島総合病院
香川県済生会病院、高松医療センター、水島協同病院
滝宮総合病院、小豆島中央病院

救急科専門研修プログラム

プログラムの特徴

香川大救急プログラム 6つのポイント（ここだけ読んでください）
募集定員：4名／年

1. 香川大では救命救急+神経救急・集中治療を計24ヶ月（時期分割可）みっちり学んでもらいます。
2. 連携施設（3ヶ月、6ヶ月、最長12ヶ月）は行きたいところをチョイスできます。
3. 神経集中治療コース（TMGあさか医療センター）、外傷外科強化コース（兵庫県立災害医療センター、りんくう総合医療センター）、ER型救急強化コース（聖路加国際病院等）から選べます。それぞれ国内で多く症例数を持つ施設で充実した研修を行えます。
4. ここに載っていない連携施設にも行けますし、連携施設から先に研修開始してもOKです。
5. 希望により研究のサポートを行います。
6. サブスペシャルテイ　集中治療専門医

救急科専攻医3年間の最後の1年間は、集中治療専攻研修3年間のうちの1年間とみなされ、集中治療専門医研修期間は2年間に短縮されます。

連携施設
聖路加国際病院、兵庫県災害医療センター、りんくう総合医療センター
TMGあさか医療センター、香川県立中央病院、高松赤十字病院
三豊総合病院、香川労災病院

放射線科専門研修プログラム

放射線診断科／放射線治療科

プログラムの特徴

画像診断は、病名診断のみならず機能評価や治療効果判定にも用いられ、医療の画像への依存度はどんどん大きくなっています。多くの画像情報から適切な診断を導くために、またさまざまな検査を使いこなすために、さまざまな診療領域に横断的に関わる専門家として、放射線診断専門医の必要性・重要性が高まっています。また核医学やIVRを用いた治療も積極的に行っています。

放射線治療は、がん集学的治療の中で重要な役割を果たし、根治と緩和の両方に貢献できます。機器の高精度化によって、治療成績の向上と副作用の軽減を達成できるようになっています。放射線治療科では、最先端のIMRT（強度変調放射線治療）を前立腺癌や頭頸部癌だけでなく、神経膠腫や術後の子宮癌に対しても積極的に行っています。また、高精度治療だけでなく、幅広い領域のがん治療を、各診療科と緊密に連携して行っています。

取得可能なサブスペシャルティ
放射線科専門医、放射線診断専門医、放射線治療専門医、核医学専門医、IVR専門医、PET核医学認定医、マンモグラフィ読影認定医、第1種放射線取扱主任者　など

連携施設
香川県立中央病院、高松赤十字病院、香川労災病院、住友別子病院
四国こどもとおとなの医療センター、キナシ大林病院、滝宮総合病院

麻酔科専門研修プログラム

プログラムの特徴

麻酔科専門医は、手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理する全身管理のスペシャリストであり、本プログラムはスペシャリストとしての麻酔科医を育成するプログラムです。本プログラムは豊富な症例を有し、ライフスタイルやキャリアパスに沿った研修体制を提供しており、関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック等のサブスペシャリティの資格取得も可能です。

運営方針として、まず専門研修基幹施設である香川大学医学部附属病院で麻酔管理を学び、以後研修内容・進行状況に配慮して、ローテーションを構築しています。ペインクリニック、集中治療、小児麻酔など、専攻医のキャリアプランに合わせたローテーションが可能です。専攻医を対象に技術習得のためのハンズオンセミナーを開催しており、また、学会発表、論文作成を目標とした臨床研究の指導を行っています。

連携施設
坂出市立病院、KKR高松病院、香川県済生会病院
滝宮総合病院、大樹会総合病院回生病院、米盛病院
兵庫県立こども病院、国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター
香川県中央病院、香川労災病院、屋島総合病院
地域医療機構りつりん病院、高松赤十字病院

総合診療専門研修プログラム

プログラムの特徴

総合診療専門医は病院や診療所において日常遭遇する疾病と傷害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組む役割を果たします。

香川大学医学部附属病院（本院）は特定機能病院でありながら地域の拠点病院としても専門診療を行う役割を担っています。しかし、本院にも救急外来を中心に高度に細分化された専門科診療では対処できない患者さんが少なからずおり、総合内科ではこうした患者さんを中心に広く全人的医療を展開しています。また、総合内科は医学部学生や初期臨床研修医、薬剤師レジデント等を対象とした教育に携わる機会も多く、教育を通じた多くの学びの場が存在します。

本プログラムでは、院内各専門科の医師やメディカルスタッフ、周辺の各地域医療機関の協力のもと、さまざまな医療現場で細やかなフィードバックを受けながら研修できる環境を整えていることが特徴です。

連携施設
坂出市立病院、さぬき市民病院、小豆島中央病院
香川県立中央病院、綾川町国民健康保険陶病院
三豊市立みとよ市民病院、三豊総合病院、直島町立診療所
まんのう町国民健康保険造田診療所・美合診療所

専門研修 2 臨床研修

香川県立中央病院

▶http://www.chp-kagawa.jp/

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数	533床
年間手術数（令和3年度実績）	5,602件
医師数	225人　指導医 84人　研修医 初期27人 後期24人
1日の平均患者数（令和3年度実績）	外来 985人　入院 386人　救急 29人

所在地	香川県高松市朝日町一丁目2番1号
開設年	1948年（昭和23年）
開設者	香川県知事
院長名	髙口 浩一
診療科目	総合診療科、消化器内科、肝臓内科、呼吸器内科、糖尿病内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓・膠原病内科、循環器内科、脳神経内科、緩和ケア内科、小児科、消化器・一般外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科・歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科
その他	［指定・認証等］救命救急センター、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院等

Access Map

【交通】
◎JR高松駅、ことでん高松築港駅からバスで約6分
◎ことでん瓦町駅からバスで約10分
◎ことでん今橋駅からバスで約5分

病院の特徴

当院は実践的臨床教育を重視している香川県の中核病院です。卒後臨床研修制度の開始以前より、長年にわたり香川大学、岡山大学、自治医科大学等からの初期研修医の臨床教育を実施して参りました。平成22年には、教育病院としての質を高めるため、NPO法人卒後臨床研修評価機構による外部評価を受け、県内初の認定病院となっております。

診療部門には各学会の指導医、専門医を配置し、プロフェッショナルとして多数の患者さんに奉仕すべく、最新の標準的治療を実践しています。救急医療では、救命救急センター（3次救急）、麻酔科が常駐する24時間体制のICUを擁し、さらに各診療科オンコールバックアップ体制を確立しているため、安全な環境のもとで、1次から3次まで多彩な救急疾患を経験することができます。自ら治療医として研鑽された実績は、医師として貴重なキャリアの1つになるでしょう。

地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、エイズ治療拠点病院、臓器提供協力施設をはじめ各学会の認定教育施設となっており、ご自身が将来専攻される分野においても、エキスパートとともに最先端の高度医療を修練できます。

香川県民の方々に最良の医療を提供すること、そしてそれが継続できるよう優秀な人材を育成していくこと、これが我々の病院のミッションです。

研修責任者からのMessage

大橋 龍一郎　院長補佐　消化器・一般外科　岡山大学卒／岡山県出身

初期臨床研修では、できるだけ幅広く、さまざまな疾患を経験することが大切です。3次救急医療機関である当院では、2年間に教科書に載っている救急症例のほとんどを経験できると思います。また各診療科は、各分野の研修指定施設であり、メジャーな疾患から、高度な治療を必要とする疾患まで最新の治療を行っています。手技の経験数も重視していますので、バランスの良い実践的な研修が可能です。研修では良い仲間も大事です。当院では毎年10-14人の初期研修医が同期として、教え合い、助け合いながら、臨床トレーニングを行っています。熱心な指導医達はもちろん、病院全体としても医療人材の育成を基幹病院の使命と位置づけ、皆さんの研修を強力にバックアップしています。是非、当院へおいでください。お待ちしています。

臨床研修プログラム

プログラムの特徴

初期臨床研修は、将来プロフェッショナルとして活躍するために、幅広い基礎作りを行う期間と位置づけています。2020年度以降の卒後臨床研修制度の改正に対応したカリキュラムとなっており、下記はそのカリキュラムの1例です。実際には1つの科で研修する医師数を少なくするため、研修科の順番は個人毎に異なります。

麻酔科では気管内挿管を初めとする基本手技と、ICUにおける全身管理のトレーニングをしていただきます。整形外科と脳神経外科は外科及び救急研修の一環です。実臨床において外傷や脳血管障害に遭遇する頻度は高く、将来の専攻科に関わらず有用なものと考えています。選択研修は、放射線読影、病理診断を含むあらゆる科で研修可能です。ご自身が将来専攻される予定ではない科の研修ができる最後のチャンスかもしれません。

単に初期研修2年間の枠組で考えるのではなく、専門研修や5年後、10年後の将来も見据えて、ご自分ならではのカリキュラムを組んでいただければ幸いです。どのような選択研修カリキュラムを組めばよいのか、指導医との相談も可能です。

連携施設
香川県立丸亀病院、綾川町国民健康保険陶病院、小豆島中央病院
直島町立診療所、香川県東讃保健福祉事務所、さぬき市民病院
徳島県立中央病院、高知医療センター、愛媛県立中央病院
香川県立白鳥病院、屋島総合病院、横井内科医院
リウマチ・腎臓内科はちまんクリニック

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科ローテーション 24週						麻酔科 8週		外科 8週		救急部 8週	
2年次	小児科 4週	産婦人科 4週	精神科 4週	地域 4週	整形外科 4週	脳神経外科 4週	選択研修 約30週					

※上記はカリキュラムの1例であり、実際には1つの科で研修する医師数を少なくするため、研修科の順番は個人ごとに異なる　※精神科研修は香川県立丸亀病院にて行う
※一般外来研修を4週間行う（院内・院外）　※整形外科、脳神経外科は省略可能（希望者のみ）　※夏季休暇 1年次、2年次とも1週間

卒後臨床研修センター Facebookページ
初期研修医の研修の様子を随時アップしています！
https://www.facebook.com/kagawakenchu.rinsyokensyu/

募集要項

［募集予定数］14人程度（自治医科大学生を含む）
［応募資格］・令和6年に実施される医師国家試験に合格する見込みの者
・令和5年度医師臨床研修マッチングシステムに参加する予定の者
［選考方法］小論文、面接
［待遇］【給与】月額〈1年次〉330,000円〈2年次〉350,000円
【宿直・日直手当】勤務1回につき〈1年次〉10,500円〈2年次〉21,000円
【期末手当（ボーナス）】6月、12月に支給（ただし、在職期間に基づく割落としあり）
その他診療業務に伴い必要な超過勤務などに係る諸手当を支給
［社会保障］健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
［勤務時間］8:30～17:15（週5日）
［当直］月2～4回程度
［宿舎］公舎あり（ただし、戸数に制限あり。入居できない場合は病院が一定額を負担する民間の賃貸住宅への入居も可能）
［その他］年次休暇、夏季休暇、病気休暇等あり

臨床研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒760-8557 香川県高松市朝日町一丁目2番1号　香川県立中央病院
総務課 木村　TEL:087-811-3333（代）　FAX:087-802-1188
http://www.chp-kagawa.jp/resident/r001/

研修医からのMessage

大西 悠幹
自治医科大学卒／香川県出身
初期研修2年目

当院には充実した診療科や教育体制が整っており3次医療機関である点から、限られた医療機関でしか経験することのできない症例に関わることができます。各診療科において指導医の先生方の指導体制が非常に充実しており、助手としての役割のみでなく、時には自分自身が主体として治療手技に参加させていただける機会も豊富にいただくことができ、手技の習得や経験の積み重ねにおいて非常に効率的な環境だと感じられます。また当院の魅力としては研修期間として例年安定した人気があるため、ともに研修に臨む研修医の先生方の人数に大変恵まれており、出身の地域や学校も多岐にわたるため、仕事でもプライベートでも大きな刺激を得ることができます。興味のある方はぜひ一度見学に来てみて下さい。

田岡 慶大
福岡大学卒／香川県出身
初期研修1年目

香川県立中央病院で初期研修を行う魅力としては、3次救急病院でありCommon diseaseから比較的まれな疾患や重症例まで幅広い症例を経験できることにあると思います。また熱心にご指導してくださる上級医の先生方のもとで、担当になった患者さんの検査や治療方針などについて話し合い、疑問点があればすぐに質問することができるので、深い理解を伴った症例の経験を得ることができます。手技に関しても多くの機会を与えていただけるので、2年間の研修の中で確実な基本的臨床能力を養うことができます。

研修医同士の雰囲気が良いことも魅力の一つと考えていて、各々経験した症例をシェアしたり、日々の診療で困ったことがあれば気軽に相談することができ、お互い切磋琢磨して高めあっていくことができる環境が整っています。

この他にもたくさんの魅力があるので興味のある方は是非一度見学に来てください。心よりお待ちしています。

専門研修 2 臨床研修

香川県立中央病院　専門研修プログラム

「内科専門研修プログラム」「総合診療科専攻医プログラム」「整形外科専門研修プログラム」「産婦人科研修プログラム」「香川全域リハビリテーション科専門研修プログラム」の5つのプログラムを提供しています。

募集要項

［募集予定数］詳細は右記ホームページをご確認ください。
［応 募 資 格］2年間の初期臨床研修修了者または令和6年3月末までに初期臨床研修修了見込みの者
［選 考 方 法］面接
［ 待　　遇 ］【給与】月額〈卒後3年次〉573,000円
〈卒後4年次〉589,000円 〈卒後5年次〉606,000円
【宿直・日直手当】勤務1回につき21,000円
【期末手当（ボーナス）】6月、12月に支給（ただし、在職期間に基づく割落としあり）
その他診療業務に伴い必要な超過勤務などに係る諸手当を支給
［社 会 保 障］健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
［勤 務 時 間］8:30～17:15（週5日）
［ 当　　直 ］月2回程度（産婦人科研修プログラムにおいてはオンコール制。週1回、月1回～2回程度）
［ 宿　　舎 ］民間賃貸住宅の家賃を病院が月に2万円負担
［そ　の　他］年次休暇、夏季休暇、病気休暇等あり

―専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先―

〒760-8557 香川県高松市朝日町一丁目2番1号
香川県立中央病院　総務課 木村
TEL:087-811-3333（代）　FAX:087-802-1188
http://www.chp-kagawa.jp/resident/r002/

指導医からのMessage

川上 公宏　副院長・血液内科・腫瘍内科　香川大学卒／岡山県出身

内科専攻医は、初期研修で身につけたさまざまな臨床能力を駆使して主治医として実践することが望まれます。また真の意味でのサブスペシャルティの研修を開始するのがこの時期でもあります。

県立中央病院という名称が示す通り地域医療支援が病院の使命であり、救急医療から高度先進医療までを担当することで地域の支援をしています。必然的に多種多様な疾患を診療しており、幅広い臨床経験を積むには良い環境にあります。

当院の内科専攻医プログラムは、基本的には2年間の院内研修と1年間の連携施設研修で構成されますが、3年間を通して1人のメンターが研修のお手伝いをするシステムを実施しています。

天候に恵まれ災害が少ないとされる香川県で、充実した研修をされることをおすすめします。

内科専門研修プログラム

プログラムの特徴

プログラムの別名は、K-1（カガワンという当院の非公認キャラクターの名前に由来）内科プログラムです。香川県（カガ）の医療を支えるために連携病院とone team（ワン）となり内科専攻医を育てる事を目指しています。基本的なコンセプトは、病歴要約のまとめや登録症例の最終確認を当院で行う事としています。コースは以下の3通りのコースがあります。

①内科基本コース（全内科診療科を偏り無くローテートして、最後の1年間連携施設研修を行うコース）、②専門科重点コース1（1年間の連携施設研修を間に挟み、2年間の当院での研修中に、専門科の研修を1年間行うコース）、および③専門科重点コース2（1年間の連携施設研修を間に挟み、2年間の当院での研修中に、専門科の研修を合計で2年間行うコース）。

本専攻医プログラム後の1年から2年のサブスペシャルティ研修で、ほとんどがその専門医受験資格も得られる内容となっています。指導は1人のメンターが3年間をお世話するほか、各専門科の指導医が直接の指導を行います。連携施設研修中も責任を持ってサポートするようにしています。

取得可能なサブスペシャルティ
消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝、糖尿病、腎臓、肝臓
感染症、神経内科、リウマチ、消化器内視鏡、がん薬物療法

連携施設
香川県内:香川県立白鳥病院、さぬき市民病院、小豆島中央病院、香川大学附属病院
屋島総合病院、高松医療センター、高松平和病院、KKR高松病院、陶病院
坂出市立病院、香川労災病院、三豊総合病院、直島診療所、高松市民病院塩江分院
香川県外:国立循環器病研究センター病院、岡山赤十字病院
九州大学大学院医学研究院、近森病院、住友別子病院、岡山大学病院
津山中央病院、岡山市立市民病院、倉敷中央病院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	院内研修											
2年次	連携施設研修①						連携施設研修②					
3年次	院内研修											

※上記はカリキュラムの1例であり、希望があれば院内研修を連携施設研修に、連携施設研修を院内研修に変更可能（ただし、院内研修と連携施設研修のいずれも最低1年間経験することが必要）
※院内研修と連携施設研修の研修時期はプログラム責任者と相談のうえ変更可能

総合診療科専攻医プログラム

プログラムの特徴

総合診療科専攻医プログラムでは特定の臓器に偏らず、各種身体症状や心理・社会的な問題にも目を向け、どの診療科を受診すべきか不明の初診患者や、一般的内科疾患（風邪、腹痛など）、生活習慣病（糖尿病、高血圧、高脂血症など）、検診異常などを診療するとももに、不明熱、全身倦怠感、体重減少、湿疹や関節痛のある患者にも対応し診断、治療ができるように研修を行います。また初診外来から各科へ入院を要す患者さんにも各専門診療科と連携しながら加療を行い全人的な診療ができるように指導体制を整えています。また、日本病院総合診療医学会の指導施設でもあり認定医の取得も可能です。他の専門医をもっている先生でも当院で総合診療専門医を目指そうではありませんか。

令和4年度より認められる内科、救急科専門医とのダブルボードにも対応しております。

取得可能なサブスペシャルティ
新家庭医療専門医、病院総合診療専門医

連携施設
三豊総合病院、綾川町国民健康保険陶病院、小豆島中央病院
高松市民病院塩江分院、直島町立診療所
まんのう町立国民健康保険美合診療所・造田診療所

産婦人科研修プログラム

プログラムの特徴

良性から悪性まであらゆる婦人科疾患、産科疾患について研修することができます。婦人科悪性腫瘍については病院の規模の割に症例が多いのが特徴です。当院が香川県の基幹病院ですから、救急患者の搬送も多く、女性特有の疾患による救急医療、女性特有のプライマリケアについて研修を行うことができます。また内科や外科、脳外科疾患など他科疾患合併妊婦も多く管理しています。NICUがありませんが、連携施設で周産期分野の研修もしっかり行えます。各種学会、研究会など将来のサブスペシャルティの獲得につながる聴講、発表、論文作成などは積極的に支援します。

大学病院とは違う実際の臨床中心の場で、産婦人科の各分野にわたる標準的な基礎知識、医療技術を修得でき、将来のある専攻医の能力を開花させるお手伝いを、専攻医の立場に立って実践します。多くの若い先生の研修参加をお待ちしています。

取得可能なサブスペシャルティ
婦人科腫瘍専門医、女性ヘルスケア専門医、超音波専門医

連携施設
香川労災病院、四国こどもとおとなの医療センター
三豊総合病院、屋島総合病院

整形外科専門研修プログラム

プログラムの特徴

最近の年間手術件数は1,600件から1,700件で香川県内では最大級の症例数であり、そのなかでも特に骨折を主とする外傷分野、そして脊椎分野の割合が多いのが特徴です。手術方法についても常に最新の技術を取り入れています。専攻医の皆さんにとりましては、整形外科で取り扱う様々な疾患を幅広く研修できること、また毎朝のカンファレンスでの症例検討を通じて疑問点を相談し研鑽を積むことができることが魅力かと思います。研修期間は3年9か月で、無事研修が終了したら4年目の1月に専門医試験を受験する事になります。整形外科専門研修では1か月1単位で10分野の決められた単位を取得することが義務付けられており、その要件に沿って研修期間と病院を決めております。当院の他、岡山大学、三豊市立みとよ市民病院または滝宮総合病院、かがわ総合リハビリテーション病院、屋島総合病院で研修予定です。

興味のある先生、やる気のある先生のご応募をお待ちしています。

取得可能なサブスペシャルティ
脊椎、外傷、上肢、下肢ほか

連携施設
岡山大学病院、かがわ総合リハビリテーション病院
屋島総合病院、三豊市立みとよ市民病院、滝宮総合病院

香川全域リハビリテーション科専門研修プログラム

プログラムの特徴

リハビリテーション科専門医は、障害に対する幅広い医学知識と専門的治療技能とを有し、「病気、外傷や加齢などによって生じる障害の予防、診断、治療を行い、機能の回復並びに活動性の向上や社会参加に向けてのリハビリテーションを担う医師」です。

患者さんの生活機能を高めることにとどまらず、多職種で構成するチーム医療において積極的に活動し、生活環境や地域社会に働きかけて患者さんの全人的な生活の質を高めるために働く医師を育成します。

本研修プログラムは、香川県全域の施設群で構成されており、その基幹研修施設は香川県立中央病院です。連携施設には、香川大学医学部付属病院をはじめ、香川県内の高度医療・急性期病院、障害者リハビリテーション施設、生活期リハビリテーションにも取り組んでいる回復期リハビリテーション病院等があり、また、スポーツ整形外科医療に取り組む施設や地域医療を担う施設等での短期間の研修も可能です。

連携施設
連携施設：香川大学医学部附属病院、かがわ総合リハビリテーションセンター
総合病院回生病院、おさか脳神経外科病院、キナシ大林病院
高松協同病院、四国こどもとおとなの医療センター、香川労災病院
関連施設：滝宮総合病院、橋本病院、広瀬病院、高松平和病院、
三豊市立みとよ市民病院

専門研修 3 臨床研修

高松赤十字病院

▶https://www.takamatsu.jrc.or.jp

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数 564床

年間手術数 令和2年度実績 11,995件

医師数 164人
指導医 63人
初期研修医 21人
（うち協力型研修医 1人）

1日の平均患者数
外来 1,171.8人
入院 382.1人
救急 29.3人

所在地	香川県高松市番町四丁目1番3号
開設年	1907年（明治40年）
開設者	日本赤十字社
院長名	西村 和修
診療科目	内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、感染症内科、精神科、小児科、消化器外科、胸部・乳腺外科、小児外科、脳神経外科、脳卒中外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、腎臓外科（臓器移植）、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科 、放射線科、病理診断科
その他	【指定・認定】災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院、地域周産期母子医療センター、生殖補助医療実施医療機関、NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）、働きやすい病院評価事業-ホスピレート認証（特定非営利活動法人イージェイネット）等

Access Map

【交通】
◎JR高松駅から徒歩約15分
◎ことでん瓦町駅から徒歩約10分
◎両駅から無料の日赤シャトルバスが運行

病院の特徴

当院は全国で6番目の赤十字病院として設立され、110年を超える歴史ある病院です。「人道・博愛」の赤十字精神に基づき、香川県の医療を牽引する中核病院として地域の皆さんに信頼され安全で満足いただける医療を提供し、資質の高い医療人を育成することを理念としています。

また、当院は高松市市街地の中心部に位置しており、利便性の高い恵まれた環境にあります。2020年4月には新館（本館北タワー 12階建て）がオープンし、高性能PET-CTやIVR-CTを新たに導入するなど高度医療機器を整備し、屋上にはヘリポートが新設されました。

このような環境の中、研修医はチーム医療の一員としてさまざまな疾患の経験を積むことができます。上級医と医局が同じであるため距離が近く、コミュニケーションが取りやすい環境にあります。

研修医宿舎

研修責任者からのMessage

山本 晃義　副院長・第一呼吸器内科部長　徳島大学卒／岡山県出身

当院の研修病院としての強みは、1）コモンディジーズからまれな疾患まで幅広く症例が経験できること、2）救急車の受入台数も県内トップクラスで、救急症例が多数経験できること、3）研修医が1学年10名前後と比較的少なく十分な症例が経験できること、4）当院は高松市の中心部にあり、日常生活に不自由しないこと、5）新しい宿舎が病院の目と鼻の先にあること、しかも賃貸料が安いこと、6）現役の看護師長が研修メディエーターをしていること、7）各診療科間の垣根が低く、研修医の指導に理解のある上級医が多いことなどがあります。

当院で初期研修を終えた医師にアンケートを採りますと、皆たいへん満足しており、特に種々の基本手技を経験できたこと、研修科目のローテートに関して個人の希望が通りやすいことおよび研修メディエーターの存在には高い評価をいただいています。

ぜひ、高松赤十字病院で我々とともに、医師としての第一歩を歩み始めてみませんか。

臨床研修プログラム

プログラムの特徴

* 内科は全7科（血液内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科）を研修できる。また、内科研修中に内科一般外来研修を3週間実施する。
* 救急は2年次に8週間研修を行う。ただし、1年次に協力病院（日本赤十字社和歌山医療センターまたは高知赤十字病院）にて8週間救急研修を行った場合は、2年次の救急研修は4週間とする。
* 小児科・産婦人科は、1・2年次のどちらかでそれぞれ4週間ずつ研修する。
* 放射線診断及びエコー研修を1年次に各1週間ずつ研修する。
* 救急医療の蘇生トレーニングコースとして、日本救急医学会が認定するICLSの資格を取得できる。
* 各種セミナー、講習会の参加費用や個人購入の医学書籍に対し、一部助成がある。
* 専属の研修メディエーター（看護師長）が研修医のあらゆるサポートを行っている。
* 災害訓練を適宜実施しており、災害時には初期研修医も医療スタッフとして派遣され、貴重な経験ができる。
* 指導医や上級医のもとで宿日直業務を行い、初期診療を学べる。

連携施設
救急:日本赤十字社和歌山医療センター、高知赤十字病院
精神科:香川大学医学部附属病院、高松市立みんなの病院
三光病院、こころの医療センター五色台
地域医療:綾川町国民健康保険陶病院、小豆島中央病院、坂出聖マルチン病院
一般外来:丸亀町クリニック

研修スケジュール（例）

コース①　（院外の救急研修を希望しない場合）

1年次	内科24週 ※一般外来研修（16日）を含む			外科6週（消化器外科 or 胸部・乳腺外科 or 心臓血管外科）	エコー1週	放射1週	精神科4週（＊1）	産婦人科 or 小児科4週	麻酔科4週	選択科8週（＊3）
2年次	救急（当院）8週	産婦人科 or 小児科4週	地域医療4週 ※一般外来研修（4日）を含む（＊2）	選択科35週（＊3）						

コース②　（院外の救急研修を希望する場合）

1年次	内科24週 ※一般外来研修（16日）を含む			外科6週（消化器外科 or 胸部・乳腺外科 or 心臓血管外科）	エコー1週	放射1週	精神科4週（＊1）	産婦人科 or 小児科4週	麻酔科4週	救急8週（高知赤十字病院 or 日本赤十字社和歌山医療センター）
2年次	救急（当院）4週	産婦人科 or 小児科4週	地域医療4週 ※一般外来研修（4日）を含む（＊2）	選択科39週（＊3）						

＊1…こころの医療センター五色台（坂出市）、三光病院（高松市牟礼町）、香川大学医学部附属病院（木田郡三木町）のうち、いずれかで研修
＊2…小豆島中央病院（小豆島町）、綾川町国民健康保険陶病院（綾歌郡綾川町）、坂出聖マルチン病院（坂出市）のうち、いずれかで研修
＊3…血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、小児科、消化器・小児外科、胸部・乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科
整形外科、皮膚科、泌尿器科（腎臓外科）、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線科、救急科、病理診断科、こころの医療センター五色台（精神科）、丸亀町クリニック（一般外来）

募集要項

［募集予定数］10人
［応募資格］医師国家試験受験予定者で、医師臨床研修マッチング参加予定者
［選考方法］小論文、面接試験
［待　遇］【給与】月額〈1年次〉330,000円〈2年次〉350,000円（各手当を除く）
【賞与】年額〈1年次〉438,000円〈2年次〉690,000円（各手当を除く）
【手当】宿日直手当、時間外手当他
［社会保障］健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険、医師損害賠償責任保険
［勤務時間］8:40～17:20　ただし、宿日直勤務あり
［当　直］月4～5回程度
［宿　舎］ワンルームマンションタイプ（全14戸）※入居できない場合は住宅手当支給（限度額28,500円）。病院から徒歩1分。光インターネット無料。エアコンあり。
［その他］年次有給休暇24日（夏休み3日を含む）、慶弔休暇あり
学会参加補助制度あり

臨床研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒760-0017 香川県高松市番町四丁目1番3号　高松赤十字病院　医療業務推進課 鈴木（臨床研修担当）
TEL:087-831-8135（直通）　FAX:087-834-7809　https://www.takamatsu.jrc.or.jp/intern/

研修医からのMessage

國方 脩登　徳島大学卒／香川県出身　2年目

高松赤十字病院の研修では、上級医の先生方のご指導のもと、疾患内容や病棟業務、各種手技や救急の初期対応に至るまで、しっかりと学ぶことができます。また院内の各場面において研修医が活躍できる場面は多く、日々の研修を通じて少しずつ成長させていただいています。

当院のプログラムでは、1年目は内科・外科を中心にローテートし、2年目は選択期間で、自分の希望に合わせた研修内容にすることが可能です。そのため、基本的なスキルを身につけつつ、3年目以降の進路を見据えながら研修を行うことができます。

病院スタッフの仲も良く、非常に働きやすい環境が整っているところもおすすめポイントです。

当院での研修に興味をお持ちの方は是非一度見学にいらしてください。

専門研修 3 臨床研修

高松赤十字病院　専門研修プログラム

「内科専門研修プログラム」と「外科専門研修プログラム」の２つのプログラムを提供しています。

募集要項

［募集予定数］内科：8人、外科：3人
［応募資格］2年間の初期臨床研修修了者または研修開始前年度3月に初期臨床研修を修了予定の医師
［選考方法］書類及び面接試験
［待　遇］【給与】基本給、時間外手当、当直手当含む※時間外手当及び当直手当は概算、実働により増減
〈1年次（卒後3年目）〉月額 約650,000円、年収 約8,650,000円
〈2年次（卒後4年目）〉月額 約700,000円、年収 約9,200,000円
〈3年次（卒後5年目）〉月額 約740,000円、年収 約9,700,000円
【賞与】あり　※但し、勤務期間により変動あり
【その他諸手当】通勤手当、住居手当、退職金
［社会保障］健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険、医師損害賠償責任保険
［勤務時間］8:40～17:20　ただし、宿日直勤務あり
［当　直］月2回
［宿　舎］研修医宿舎あり（全14戸）※初期臨床研修医優先
住居手当あり（限度額28,500円/月）
［その他］年次有給休暇24日（夏休み3日を含む）、慶弔休暇
学会参加補助制度あり

―専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先―
〒760-0017 高松市番町四丁目1番3号
医療業務推進課 樽茶（専門研修担当）
TEL:087-831-8135（直通）　FAX:087-834-7809
https://www.takamatsu.jrc.or.jp/intern/

内科専門研修プログラム

プログラムの特徴

最初の２年間は当院で一貫した研修を行います。症例数が極めて多いため、最初の２年間に必須とされる70疾患群200症例を経験できるだけでなく、患者さんの入院から退院までの過程を経験できます。また、当院は内科全体でプログラムを運用しているため、専門研修プログラム開始後でも希望に応じた変更が容易です。初期研修では体得困難である医療安全・医療倫理・社会制度などの医師に必要な知識をしっかり取得していただき、長い人生の礎としていただきます。コースは以下の３通りのコースがあります。

①**内科基本コース**（最初の２年間で全内科診療科をローテートし、最後の１年間で連携施設研修を行うコース）、②**サブスペ重点コース１**（最初の２年間のうち、６ヵ月をローテーション期間とし、残り18ヵ月を希望診療科で研修、最後の１年間で連携施設研修を行うコース）、③**サブスペ重点コース２**（最初の２年間のうち、12ヵ月をローテーション期間とし、残り12ヵ月を希望診療科で研修、最後の１年間で連携施設研修を行うコース）。

３年目に連携施設研修を行いますが、地域医療に強い施設、高度な専門研修や臨床研究ができる施設のなかから選択可能です。

当院のプログラムは内科志望ではあるが専門診療科を決めていない専攻医、特定の診療科を決めており効率よく内科とサブスペシャルティの専門医を取得したい専攻医、内科疾患における初診から退院までの診療を一貫して経験したい専攻医、身分が保証された環境で研修に打ち込みたい専攻医に適したプログラムであると考えています。

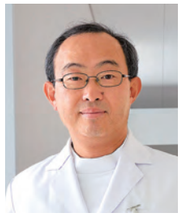
取得可能なサブスペシャルティ
日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本循環器学会
日本内分泌学会、日本糖尿病学会、日本腎臓学会
日本呼吸器学会、日本血液学会、日本神経学会
日本リウマチ学会、日本臨床腫瘍学会
日本消化器内視鏡学会

連携施設
京都大学医学部附属病院、徳島大学病院
香川大学医学部附属病院、国立がん研究センター
大阪公立大学医学部附属病院、倉敷中央病院
さぬき市民病院、坂出市立病院、宇多津病院
綾川町国民健康保険陶病院、高松医療センター
小豆島中央病院、三豊市立西香川病院
三豊市立みとよ市民病院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	高松赤十字病院研修（基幹施設）											
2年次	高松赤十字病院研修（基幹施設）											
3年次	連携施設研修											

指導医からのMessage　大西 宏明　副院長・血液内科部長（内科専門研修プログラム統括責任者）　香川医科大学卒／香川県出身



多くの学生や医師が憧れるドクターは、古くは「ブラックジャック」でしたが、現代ではどんな難病もたちどころに診断してしまう「ドクター G」や失敗しない「ドクター X」でしょう。残念ながら、現代の医療では、これらの神格化されたドクターは単独では存在せず、専門医が協力して診療にあたる病院が「ドクター G」や「ドクター X」に該当するのではないかと思います。このような病院は高度な医療を行うだけでなく、専門医の研修にも優れています。

当院は、内科に血液、腎臓、内分泌代謝、消化器、循環器、脳神経、呼吸器、腫瘍内科の8つの専門科を有し、約220床を運用しています。紹介、救急車での来院患者が多く、症例が分野を問わず豊富です。内科全員参加の研修医症例検討会や連絡会を毎週行うことで、内科の専門医が一体として活動しています。さらに、当院は内科と他の診療科との連携も密であり、それゆえに病院の全専門医による「ドクターG」+「ドクターX」の機能を有していると考えます。

このように専門研修プログラムのために必要な要素全てを備えており、高松市街に近く、福利厚生の充実した当院での修練を強くお勧めします。一緒に「ドクター G+X」を目指しましょう。

外科専門研修プログラム

プログラムの特徴

当院外科は消化器外科、小児外科、胸部・乳腺外科、心臓血管外科の４科のどの診療科も豊富な症例数があり、質の高い医療を提供しています。内視鏡手術やダ・ヴィンチ手術などの低侵襲手術が広く行われており、NCD登録数は年間約1,200例で、内訳として消化器外科約600例、小児外科約90例、胸部・乳腺外科約370例、心臓血管外科約220例となっています。若手医師育成のため積極的に執刀させるカリキュラムを組んでおり、外科専門医取得に最低限必要な症例数（120例）は比較的容易にクリアできます。また、連携施設は３施設（香川大学医学部附属病院、四国こどもとおとなの医療センター、高知赤十字病院）で外科的救急や、小児外科領域でさらなる研修が可能となります。

取得可能なサブスペシャルティ
日本消化器外科学会
心臓血管外科専門医認定機構
日本呼吸器外科学会、日本小児外科学会
日本内分泌外科学会、日本乳癌学会

連携施設
香川大学医学部附属病院
四国こどもとおとなの医療センター
高知赤十字病院

研修スケジュール（例）

1年次	2年次		3年次	
高松赤十字病院	連携施設	高松赤十字病院		
高松赤十字病院		連携施設	高松赤十字病院	
高松赤十字病院			連携施設	高松赤十字病院
高松赤十字病院		連携施設		高松赤十字病院
高松赤十字病院		連携施設	連携施設	高松赤十字病院

外科専門医研修
サブスペシャルティ領域など専門医研修

指導医からのMessage　西村 和修　院長・総合血管治療センター長（外科専門研修プログラム統括責任者）　山口大学卒／福岡県出身

当院は500床規模の総合病院で、高度急性期病院です。2020年４月には新病棟がオープンし、ハイブリッド手術室を含む拡充された手術室（10室）が機能しています。

鏡視下手術、ダヴィンチ手術、ステントグラフト手術などの低侵襲手術も広く行われています。NCD登録数は年間約1,200例で若手医師にも積極的に執刀させます。救急車受け入れは1日平均10台で、緊急手術も多くあります。

学術面においては診療補助ツールとして「Up to Date」「Dyna Med」などが常時利用可能で、若手医師向けの教育セミナーも充実しています。学会出張は発表者であれば何度でも旅費を支給されるなど、手厚く支援します。

診療、学術面ともに充実した当院の外科専門研修プログラムにぜひトライしてください。

専門研修 4 臨床研修

高松市立みんなの病院

▶http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp/

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数	年間手術数
305床	2,795件

医師数
54人
指導医 28人

1日の平均患者数
外来 403人
入院 240人
救急 14人

所在地	香川県高松市仏生山町甲847番地1
開設年	1952年(昭和27年12月23日)
開設者	高松市長
院長名	六車 直樹
診療科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科 、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科
その他	院内保育所「どんぐり」を設置し、職員が安心して働けるよう子育てと仕事の両立を支援します。 一般病床299床 (うち地域包括ケア病棟48床、感染症病床6床)

【交通】
◎ことでん琴平線仏生山駅から徒歩約2分

病院の特徴

院内保育所「どんぐり」

リニアック

2018年9月1日、高松市民病院は高松市民病院附属香川診療所と統合し、「高松市立みんなの病院」として、高松市仏生山町に新築移転し開院しました。

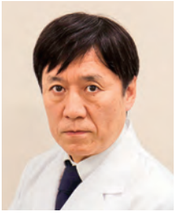
主な設備として、【がん医療】PET−CT、リニアック、通院治療室 (外来化学療法室)、緩和ケア病床【救急医療】3テスラ高機能MRI、救急外来、救急手術室【災害時に対する医療】ヘリポート、免振装置、DMAT【地域包括ケア】地域包括ケア病棟、地域医療・患者支援センターを整備しています。また手術支援ロボット「ダヴィンチ」も導入しています。

病院の1Fには、みんなのホール (多目的ホール) を整備しています。講演会や地域連携セミナーなど多目的に使用できるホールです。子育て世代が安心して勤務できるように院内に保育所を設置しています。明るく木の温かみのある建物で、保育士が子供一人ひとりに丁寧に接しています。

ことでん琴平線仏生山駅から徒歩2分の立地で、高松市中心部とのアクセスも良いです。

研修責任者からのMessage

六車 直樹　院長　徳島大学卒／ 香川県出身



当院は医療設備・機器も充実しており、快適かつ満足度の高い研修環境を提供できるものと確信しています。プライマリ・ケアを含む急性期医療、地域医療から高度専門医療までレンジの広い疾患群を扱うことができます。各専門領域の学会専門医、指導医によるマンツーマン指導を基本とし、研修プログラムの質向上と教育の充実を図っています。さらには卒前〜卒後のシームレスな医師研修だけでなく、ジェネラリスト、スペシャリストともに将来目指すべき医師像のキャリア形成へ向けて円滑に接続できるプログラムを構築しています。

「Think globally, act locally. Think locally, act globally」医学の世界を意識しながら地域で行動する。地域で得られた経験を活かし、これからの医療を変えていく。このような思いで医療人の育成に取り組んでいます。

臨床研修プログラム

プログラムの特徴

指導医がマンツーマンでフォローし、学会発表・雑誌への投稿まで指導します。当直は内科系・外科系の当直医とともに救急患者の対応にあたります。

また、他科との連携も密な為、いつでも適切な助言を得ることができます。さらに各科専門医による、“研修医のための基本的な診療技術のレクチャー” もあり、多種多様な医療知識を得られます。

精神的な負担に対しても、研修責任者の声がけや当院の精神科専門医への相談などで軽減・解消するように心がけています。

※地域医療については、沖縄県立八重山病院、高松市民病院塩江分院での研修が可能です。

【研修の目標】
保健、福祉、へき地医療の各機関とも連携を図ることによって、医師としての基本的な知識、技能を全科にわたって吸収すること、及び患者等に対する全人的な対応能力や地域保健・医療について理解し実践することが可能であり、プライマリーケアに対処し得る第一線の臨床医はもちろん、高度の専門医を目指すにも必要不可欠な診療に関する基本的な知識、技能、及び態度の修得を目標とするものです。

連携施設
徳島大学病院
沖縄県立八重山病院
高松市民病院塩江分院

研修スケジュール（例）

1年次	内科24週(6週×4科) 一般内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科			救急12週(4週×3) 麻酔科(4週)含む	外科8週 一般外来研修含む	小児科8週 一般外来研修含む
	高松市立みんなの病院					
2年次	地域医療 4週	産婦人科 4週	精神科 8週	選択科目36週 (4週×9)		
	協力病院 協力施設	高松市立みんなの病院		高松市立みんなの病院又は徳島大学病院		

募集要項

[募集予定数] 4人
[応募資格] 医師国家試験合格者又は合格見込みの者
[選考方法] 書類審査及び面接により臨床研修委員会で選考
[待　遇] 非常勤嘱託医師
【給与】基本給・月額
〈1年次〉350,000円〈2年次〉380,000円
【手当】時間外手当、宿日直手当等

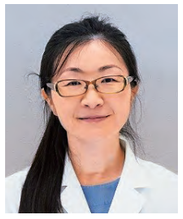
[社会保障] 健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
[勤務時間] 8:30〜17:00 土日・祝日除く
[当　直] 毎月3回程度
[宿　舎] 借上宿舎 (要相談)

臨床研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒761-8538 香川県高松市仏生山町甲847番地1　高松市立みんなの病院　TEL：087-813-7171　FAX：087-813-7141
http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp/archives/7873

研修責任者からのMessage

藤井 笑子　小児科診療部長・臨床教育センター長　徳島大学卒／ 愛媛県出身



初期研修病院として高松市立みんなの病院をおすすめする理由が2つあります。

1つ目は1人の患者さんに対して複数の診療科が連携して診ることができる余裕を持った診療体制であるところです。当院は、病床数が300床台の地域の中核病院であるため、患者さんに対してより多角的に手厚く診ることができています。また診療科同士の垣根が低く、疾患について周りの医師に気軽に相談できる環境です。

2つ目は当院で働く人材が充実しているところです。医師全体の一体感があり、他の医療スタッフの方々との連携もしっかり取れています。患者さんやご家族にしっかりと対応できるスタッフが大勢いる病院であると感じています。

病院そのもの、立地場所、働くスタッフどれを取っても素晴らしい環境で一緒に成長できることを期待しています。

専門研修 4 臨床研修

高松市立みんなの病院　専門研修プログラム

「内科専門研修プログラム」を提供しています。

募集要項

［募集予定数］4人
［応 募 資 格］2年間の初期臨床研修終了者または研修開始前年度3月に初期臨床研修を修了見込者
［選 考 方 法］面接
［ 待　　遇 ］【給与】月額
〈1年次（卒後3年目）〉約680,000円
〈2年次（卒後4年目）〉約700,000円
〈3年次（卒後5年目）〉約720,000円
【宿直・日直手当】勤務1回につき21,000円
その他診療業務に伴い時間外手当等の諸手当を支給
【賞与】あり　※但し、勤務期間により変動あり

［社 会 保 障］地方公務員共済組合、地方公務員災害補償
［勤 務 時 間］8:30 ～ 17:15（週休2日）
［ 当　　直 ］あり
［ 宿　　舎 ］住宅手当あり（限度額27,000円/月）
［そ　の　他］年次有給休暇（初年度15日）、産前産後休暇、育児休暇、その他休暇（特別休暇、忌引等）

専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先
〒761-8538 香川県高松市仏生山町甲847番地1　高松市立みんなの病院　総務課　臨床研修担当
TEL:087-813-7171　FAX:087-813-7141　http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp/archives/21857

内科専門研修プログラム

プログラムの特徴

当院は、香川県高松保健医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診の中核であります。最初の2年間は当院で研修を行い3年目に連携施設において研修を行いますが、各専攻医の目指す将来像に応じて期間を調整します。

当院での2年間で「研修手帳」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で45疾患群、120症例以上を経験し、内科専門医ボードによる評価に合格できる29症例の病歴要約を作成できます。

本プログラムでは、主担当医として、入院から退院まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。

専攻医3年次には「研修手帳」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で56疾患群、160症例以上を経験し、また可能な限り、「研修手帳」に定められた70疾患群、200症例以上の経験を目指します。

取得可能なサブスペシャルティ
消化器、循環器、呼吸器、血液、糖尿病
肝臓、アレルギー、感染症、神経内科

連携施設
高松平和病院
四国こどもとおとなの医療センター
四国中央病院、徳島大学病院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	一般内科（総合内科Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）・神経内科・感染症								消化器			
	当直（月3回程度）・JMECC・CPC											
2年次	呼吸器				循環器				選択			
	外来（週1回以上）・不足している研修											
3年次	連携施設											
	学会への発表又は論文・地域・他施設参加型カンファレンス・不足している研修											

指導医からのMessage

岸本 伸人　副院長　徳島大学卒／香川県出身

高松市立みんなの病院は、2018年9月に新築・移転された新しい病院です。305床の中規模病院ですが、地域医療支援病院、災害拠点病院に認定されており、さらに、以前から第二種感染症指定病院としてCOVID-19をはじめさまざまな感染症に対応しています。

当院の内科専攻医プログラムは、2年間の当院での研修と1年間の連携施設研修で構成されています。内科では、主に呼吸器、循環器、消化器、脳神経内科、血液、糖尿病・内分泌、感染症、アレルギーなどを学ぶことが可能です。

特徴は、専門以外にも総合内科のようにさまざまな疾患を経験することができ、また、他科との連携がとりやすいので内科以外の疾患も学ぶことが可能です。

気候が穏やかで、災害も少なく、うどんのおいしい香川県での研修をお勧めします。

週間スケジュール（例）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	内科　朝カンファレンス					担当患者の病態に応じた診療、日当直、講習会、学会参加など	
	入院患者診療						
	内科外来診療						
	内科検査						
	救急対応						
午後	入院患者診療						
	内科入院患者カンファレンス	地域参加型カンファレンス	抄読会	内科入院患者カンファレンス			
	救急対応						
	担当患者の病態に応じた診療、オンコール、当直など						

専門研修 5 臨床研修

香川労災病院

▶https://www.kagawah.johas.go.jp/

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数	年間手術数
404床	4,444件

医師数 87人
指導医 43人
研修医 4人

1日の平均患者数
外来 1,163.3人
入院 314.7人
救急 21.0人

所在地	香川県丸亀市城東町三丁目3番1号
開設年	1956年（昭和31年）
開設者	独立行政法人労働者健康安全機構
院長名	吉野 公博
診療科目	内科、循環器内科、精神科、神経内科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、検査科、麻酔科、歯科口腔外科
その他	平成25年4月より救急棟が稼働し、HCUを新設しました。 平成28年度には研修医宿舎が完成しています。 令和5年度より、がん診療棟が稼働予定です。 令和4年度に、卒後臨床研修病院の認定を更新しました。 ICU8床、HCU8床

Access Map

【交通】
◎JR丸亀駅から
・徒歩約20分　・タクシー約5分
・バス約7分（「労災病院」下車）

病院の特徴

当院は国が開設する厚生労働省所管の病院であり、香川県中讃地域の中核病院として、①**地域医療連携**（地域医療支援病院・へき地医療拠点病院）、②**救急医療**、③**地域がん診療連携拠点病院（高度型）**、④**勤労者医療**の4つの重要な機能を担っています。

①地域医療支援病院として、顔の見える地域連携を推進し、紹介率84.8%、逆紹介率97.3%（R3年度）と、患者さんに身近な地域で質の高い医療を受けていただくことを実践しています。

②第一次から第二次救急患者まで幅広く受入れており、香川県内からの救急車搬送受入件数は3,459件（R3年度）であり、県内トップクラスです。なお、救急棟を増築し、2013年4月より稼働しました。

③地域がん診療連携拠点病院として医療安全に配慮した「化学療法レジメン対応型電子クリティカルパス」を整備しています。令和3年度より、診療圏内で最も実績豊富な医療機関として、高度型に認定されました。

④勤労者医療としては、アスベスト疾患センターを有しています。

研修責任者からのMessage

次田 誠　研修実施責任者・第5内科部長　高知大学卒／香川県出身

香川労災病院は「機動力の病院」です。404床の中規模であるため、研修スケジュールについても機動力のある柔軟な対応が可能です。また、当院は手術支援ロボット「ダヴィンチ」を始めとする医療資源を多数有しており、計画的に順次更新を行っております。こうした働きやすい環境は医師としてのスタートを切る病院として最適であると思います。

救急車受入件数が県内トップクラスを誇る救急医療、地域の病院やへき地の診療所との連携による医療、質の高いがん治療の提供、そして勤労者医療や災害医療と、研修医の先生方に提供できないものはない研修環境のなか、全人的医療を通じて初期研修に必要な要素を全て学ぶことができるプログラムであると自負しています。

ぜひ当院での臨床研修をご検討ください。

臨床研修プログラム

プログラムの特徴

1. 1年目は必修科目となる診療科である、内科24週、救急12週、外科4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週の研修を行い、同時期に重ならないように配慮します。研修実施にあたっては、「臨床研修の到達目標、方略及び評価」の「I 到達目標」を達成できる内容となっています。
2. 2年目に必修科として地域医療4週、その他の期間については選択診療科としており、選択診療科の期間を長く設けることで、将来の選択肢を幅広く考えることができるよう配慮しています。選択科目の研修にあたっては研修医の希望を確認の上、可能な限り希望に沿うようにスケジュールを作成し、期間直前の変更希望等にも弾力的に対応しています。当院においては各診療科に優秀な指導医を多数抱えており、実践重視の、きめ細かな指導を受けることにより、進路をどのように決めようと、医師としての基本の形成に有用なプログラムになっていると自負しています。

また、多くの研修医が内科から研修を開始するため、開始にあたって当院の特徴や電子カルテの書き方などの基本的な知識・技術について習得することが可能です。

連携施設
小豆島中央病院、綾川町国民健康保険陶病院
さぬき市民病院、四国こどもとおとなの医療センター
医療法人社団 中和会西紋病院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科	産婦人科	精神科	小児科	救急	
2年次	救急	地域医療	選択科より選択									

募集要項

［募集予定数］6人
［選考方法］小論文及び面接
［待　遇］【給与】月額
〈1年次〉基本給360,000円、時間外等の各種手当60,000円程度
〈2年次〉基本給380,000円、時間外等の各種手当60,000円程度
【賞与】一時金として支給
〈1年次〉132,000円 〈2年次〉154,000円

［社会保障］公的医療保険、公的年金保険、企業年金、雇用保険、労災保険等
［勤務時間］8:30～17:15
［当　直］希望があれば可
［宿　舎］あり
［奨学金制度］4月頃より募集開始

臨床研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒763-8502 香川県丸亀市城東町三丁目3番1号　香川労災病院　総務課 藤本・久保・和田
TEL:0877-23-3111　FAX:0877-24-1147　https://www.kagawah.johas.go.jp/intern/syoki_requirements

研修医からのMessage

野田 寛貴　岡山大学卒／鳥取県出身　臨床研修1年目

地域の中核病院であり、軽症から重症まで複数の疾患を抱えた幅広い患者さんが訪れる環境の中、実践的な経験を積むことができます。

研修は自由度が高く、医局内のフリースペースで他診療科指導医と気軽に会話ができるなど、診療科ごとの垣根が低いためコンサルもしやすく、フットワークに優れた研修が可能で、ローテート以外の他科の知識も同時に得られる素晴らしい環境です。幅広い医療を自然と経験するため視野も広がり、さらに目指したいと思うロールモデルとなる先生方も多く、進路が決まっている人も決まっていない人も、それぞれの将来に向かって確かな実力を身につける研修ができます。

専門研修 5 臨床研修

香川労災病院

専門研修プログラム

「内科専門研修プログラム」を提供しています。

募集要項

[募集予定数] 3人
[応 募 資 格] 年度末初期臨床研修修了見込者（医科）、初期臨床研修修了者（医科）
[選 考 方 法] 面接
[待　　遇] 【給与】月額
〈1年次（卒後3年目）〉約560,000円（実績・各種手当を含む）
〈2年次（卒後4年目）〉約600,000円（実績・各種手当を含む）
〈3年次（卒後5年目）〉約760,000円（実績・各種手当を含む）
[社 会 保 障] 公的医療保険、公的年金保険、企業年金、雇用保険、労災保険
[勤 務 時 間] 8:30 ～ 17:15
[当　　直] あり
[宿　　舎] あり

専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒763-8502 香川県丸亀市城東町三丁目3番1号　香川労災病院　総務課 藤本・久保・和田
TEL:0877-23-3111　FAX:0877-24-1147　https://www.kagawah.johas.go.jp/intern/kouki_requirements/naika

内科専門研修プログラム

プログラムの特徴

1. 香川労災内科施設群専門研修では、主担当医として、入院から退院まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全人的医療を実践します。
2. 香川労災病院での2年間で、「研修手帳」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で45疾患群、120症例以上を経験できます。そして、専攻医2年修了時点で、指導医による形成的な指導を通じて、内科専門医ボードによる評価に合格できる29症例の病歴要約を作成できます。
3. 香川労災内科研修施設群の各医療機関の地域における役割を経験するために、専門研修3年目の0.5年間、立場や地域における役割の異なる医療機関で研修を行います。
4. 専攻医3年修了時で、「研修手帳」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で56疾患群、160症例以上を経験できます。

取得可能なサブスペシャルティ
消化器、循環器、内分泌代謝、糖尿病、腎臓病、呼吸器、血液、アレルギー、リウマチ

連携施設
香川大学医学部附属病院、岡山大学医学部附属病院
宇多津病院　等

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	香川労災病院											
2年次	香川労災病院											
3年次	連携病院						香川労災病院					

指導医からのMessage

滝本 秀隆　副院長・内科部長・血液内科部長　岡山大学卒／香川県出身

香川労災病院は香川県中讃圏域にある急性期病院であり、同圏域・近隣圏域にある連携施設と一体となり、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。主担当医として入院から退院までの診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医育成を目指します。

当院では内科13領域中、11領域をカバーする多くの指導医陣と年間3,700台の豊富な救急症例、またがん診療を中心とした高度な急性期医療を学びながら、充実した研修生活を送ることができます。更には国内外の学会発表や英文抄読会を通じて世界に情報発信を行う臨床研究の基礎も学ぶことができる強みを持っています。

当院の専門医研修期間を一つのステップとして、臨床能力をさらに向上させ、患者から信頼される医師に成長されることを期待しています。

週間スケジュール（例）

	午前	午後	セミナー等
月	カンファレンス（循環器） 入院診療 外来（初診）	入院診療 カンファレンス（消化器） CPC（月別） 担当患者の病態に応じた診療、オンコール、当直等	部署内で年次計画作成の上参加・発表
火	カンファレンス（循環器） 抄読会（全体） 入院診療 救急患者対応	内科検査・入院診療 カンファレンス（呼吸器） 医師会連携講習会（月別） 担当患者の病態に応じた診療、オンコール、当直等	
水	カンファレンス（循環器） 入院診療 内科検査	内科検査・入院診療 合同カンファレンス（症例検討） 担当患者の病態に応じた診療、オンコール、当直等	
木	カンファレンス（循環器） 入院診療 外来（再診）	内科検査・入院診療 カンファレンス（血液） 院外講習会 担当患者の病態に応じた診療、オンコール、当直等	
金	カンファレンス（循環器） 入院診療 検査	救急対応・入院診療 カンファレンス（腎・代謝） 英会話教室 担当患者の病態に応じた診療、オンコール、当直等	

研修医からのMessage

西村 晃彦　愛媛大学医学部卒／兵庫県出身　専門研修4年目

私は出身大学と初期研修は他県でありましたが、今回、血液内科をはじめ内科疾患を幅広く学びたいと考え、香川労災病院での研修を志望しました。香川労災病院は中讃地域の基幹病院であり、病床数は404床です。また、地域の基幹病院ともあって年間約4,000台の救急搬送があり、スーパー ICUの施設基準を取得するなど、ICU等の集中治療室も充実しています。

私は血液内科を主に研修していますが、その他内科の診療科が多く、症例数も豊富なため症例に困ることはありません。また医者同士の垣根は低く、大変相談しやすい環境であり、日々ストレスなく仕事ができています。当直は月に3～4回程度で、日によって寝られない日もありますが、夜間でもCTやMRIなど検査でき、待機の診療科も多いため、診断や診療に苦労することはあまりありません。また、比較的自由な時間も多いように思います。

ぜひ、一緒に香川でうどんを食べて、専門研修をやりましょう。

専門研修 6 臨床研修

四国こどもとおとなの医療センター

▶http://shikoku-mc.hosp.go.jp/

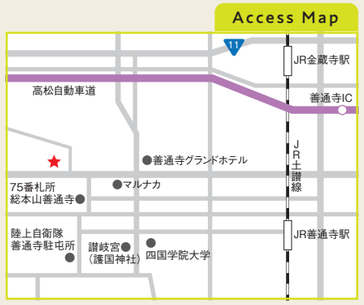
病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数	年間手術数
689床	4,855件

医師数 100人
指導医 53人
研修医 6人

1日の平均患者数
外来 594人
入院 501.5人
救急 9.3人

所在地　香川県善通寺市仙遊町二丁目1番1号
開設年　2013年（平成25年）
開設者　独立行政法人国立病院機構
院長名　横田 一郎
診療科目　小児科、小児呼吸器内科、小児循環器内科、小児神経内科、新生児内科、小児アレルギー科、小児血液・腫瘍内科、小児腎臓内科、小児内分泌・代謝内科、小児感染症内科、児童心療内科、児童精神科、婦人科（思春期）、産科、周産期内科、小児外科、小児心臓血管外科、小児脳神経外科、小児整形外科、小児形成外科、小児眼科、小児耳鼻いんこう科、小児歯科、内科、心療内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、乳腺外科、婦人科、不妊治療婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床検査科、病理診断科、歯科口腔外科、児童心療精神科、内分泌・代謝内科
その他　［関連施設］附属看護学校、保育所、在宅通園施設、ヘリポート
［隣接施設］香川県立善通寺養護学校



【交通】
◎JR土讃線善通寺駅からタクシーで約5分
◎善通寺ICから車で約7分

病院の特徴

当院はその名の通り、誕生からみとりまですべての年代の方に医療を提供しています。

成育医療部門（411床）は、中四国唯一のPICU（小児ICU）、四国最大級の総合周産期母子医療センター、多彩な小児専門外来を持ち、名実共に四国の小児医療の砦としての役割を担います。ドクターズカーによる四国4県からの新生児搬送、隣接した県立養護学校との医教連携も行われます。成人医療部門（250床）には、血管内治療を行う循環器病・脳卒中センター、骨・運動器センター、女性医療センターを開設しています。ER型の救急部門（28床）は香川県小児救命救急センターに位置づけられ、災害拠点病院としてヘリポートも設置しています。

また臨床研究部門を持ち、小児医療や循環器病を中心に医療の質の向上をめざした研究を行っています。NHOの使命として研修医をはじめ医療従事者の育成にも注力しています。

研修責任者からのMessage

吉田 守美子　臨床研究部長・教育研修部長　徳島大学卒／香川県出身

成育部門は小児や産科医療に関心のある多くの医学生・研修医を全国から迎え入れ、育成してきた実績があります。成人部門では循環器病・脳卒中センターや痛みの医療センターを有し、幅広くかつ専門性の高い経験を積むことができます。さらに救命救急センター・小児救急センターでは、小児から成人まで年齢を問わずあらゆる疾病の急性期や外傷の研修が可能です。幅広い分野のプライマリ研修に加えて、特に成育分野に興味を持つ方にはさまざまな手技・経験の機会を提供できる豊富なseedsを持つ病院です。

香川の地で様々な大学出身の研修医と切磋琢磨する日々は、医師のキャリアのうえで貴重な財産になると思います。研修を考えている皆さんをスタッフ一丸となって大切に育てていきたいと考えています。ぜひ見学・実習におこしください。

臨床研修プログラム

プログラムの特徴

臨床研修の基本理念（医師法第16条の2）に基づき、臨床研修は医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けます。

当院の「こどもプログラム」では、母体・胎児から新生児、小児、成人（移行期医療）を中心とした成育医療を重視しており、救急医療にも力を入れています。また、「おとなプログラム」においては、成人の医療を重視した救急医療に力を入れています。

各々のプログラムは臨床研修を達成するため、協力病院とも綿密な連携の基、研修を分担実施する内科、外科、産婦人科、小児科、地域医療（協力施設）等の各診療科ごとに実施可能な形で翻案を行い、2年間の研修を全て受けることで、各診療科を通じて法定研修目標の達成が可能となっています。

連携施設
国立病院機構 関門医療センター、香川労災病院、徳島大学病院
香川大学医学部附属病院、県立丸亀病院、三豊市立みとよ市民病院、三船病院
石原消化器内科クリニック、今川内科医院、大杉脳神経外科医院
おかだ小児クリニック、おざきこどもクリニック、小豆島中央病院、善通寺前田病院
丸亀市国民健康保険本島診療所、三野小児科医院、杢保小児科医院、森医院
もりもとこどもクリニック、香川県中讃保健福祉事務所

研修スケジュール（例）

こどもプログラム（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	小児科基本（選択必修）		内　科（院内）			内　科（病院選択可）			救急（麻酔科）	救急（成人）	救急（NICU）	精神
2年次	外科（一般、小）	産婦人科	地域医療	選択科目（小児科一般、小児科専門分野、小児救急・麻酔、総合周産期、小児系外科、児童精神）								

おとなプログラム（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科			内　科（病院選択可）			救急（麻酔科）	救急（救命救急センター）		外科（一般、小）	産婦人科	小児科
2年次	精神	地域医療	選択科目									

募集要項

［募集予定数］10人
［応募資格］医師国家試験合格予定者、マッチングプログラム参加者
［選考方法］小論文、面接
［待　遇］1年次 月額 310,000円+時間外手当+当（副）直手当
2年次 月額 330,000円+時間外手当+当（副）直手当
当（副）直手当、時間外手当、救急手当、通勤手当、別途年2回賞与あり
【休暇】有給休暇 23日（リフレッシュ休暇含む）
［社会保障］健康保険、雇用保険、労働保険、厚生年金保険
［勤務時間］8:30～16:30
［当　直］約3回/月
［宿　舎］あり

臨床研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒765-8507 香川県善通寺市仙遊町2丁目1-1　四国こどもとおとなの医療センター　教育研修部(医師部門)
TEL:0877-62-1000　FAX:0877-62-6311　メール:518-dr.kyouiku@mail.hosp.go.jp　https://shikoku-mc.hosp.go.jp/profession/guideline.html

研修医からのMessage

阿部 春季　島根大学卒／宮城県出身　臨床研修1年目

私は、初期研修のうちから小児科の様々な専門分野に触れることができる点に魅力を感じ当院での研修を選択しました。一方で、現在様々な診療科をローテートする中で、小児科はもちろん内科・外科を含めあらゆる分野で研修医としての仕事に向き合い、今後の土台となる基本的な力を身につけることの大切さを感じています。その点で、当院は病院全体の雰囲気が温かく、診療科を問わず指導医の先生方には優しく懇切丁寧なご指導を頂くことができ、日々成長を実感できる充実した研修を送っております。また、善通寺は自然の多い落ち着いた土地で過ごしやすく、近くには瀬戸内海や金比羅山など見所ある観光地が多く、おいしいうどん屋も数え切れない程あり、休日もしっかり楽しむことができます。当院ではこの様な抜群の環境で、医師としての大切な一歩を踏み出すことができます。是非一度見学に来て下さい。

専門研修 6 臨床研修

四国こどもとおとなの医療センター

専門研修プログラム

「小児科研修医（専攻医）プログラム」と「麻酔科専門研修プログラム」の２つのプログラムを提供しています。

募集要項

［募集予定数］小児科：7人、麻酔科：1人
［応 募 資 格］①前年度3月に2年間の初期臨床研修を修了予定の医師②2年間の初期臨床研修を修了している医師
［選 考 方 法］書類、面接
［ 待　　遇 ］【給与】年額
〈卒後３年次〉月額 399,400円（基本給）+時間外手当＋宿日直（当直）手当 等
〈卒後４年次〉月額 446,000円（基本給）+時間外手当＋宿日直（当直）手当 等
〈卒後５年次〉月額 494,100円（基本給）+時間外手当＋宿日直（当直）手当 等
当直手当、時間外手当、救急手当、通勤手当、別途年２回賞与あり
【休暇】有給休暇 23日（リフレッシュ休暇含む）

［社 会 保 障］社会保険、雇用保険、厚生年金
［勤 務 時 間］8:30 ～ 16:30
［ 当　　直 ］約3回/月
［ 宿　　舎 ］あり

専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒765-8507 香川県善通寺市仙遊町2丁目1-1　四国こどもとおとなの医療センター　教育研修部（医師部門）
TEL：0877-62-1000　FAX：0877-62-6311　メール：518-dr.kyouiku@mail.hosp.go.jp
https://shikoku-mc.hosp.go.jp/profession/kouki.html

小児科研修医（専攻医）プログラム

プログラムの特徴

本研修プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成」することを目的として、一定の専門分野に偏ることなく、幅広い小児医療を研修します。

専攻医は「小児科医は子どもの総合医である。」という基本的姿勢に基ずづいて3年間の研修を行い、「子どもの総合診療医」、「育児・健康支援者」、「子どもの代弁者」、「学識・研究者」、「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児専門医となることをめざした研修です。

取得可能なサブスペシャルティ
小児科専門医

連携施設
徳島大学病院、香川大学医学部附属病院、愛媛大学医学部附属病院
高松市立みんなの病院、高松赤十字病院、高松平和病院、坂出市立病院
三豊総合病院、香川県立中央病院、小豆島中央病院、さぬき市民病院

指導医からのMessage

岡田 隆文　小児感染症内科医長　徳島大学卒／香川県出身

四国こどもとおとなの医療センターは、成育医療の基幹病院であるためにあらゆる小児患者が集まります。毎日24時間の小児救急医療体制に加えて1～3次医療も担い、四国で唯一の小児集中治療室（PICU）を有しているので集学的治療の経験も可能です。さらに、成育外科系部門も充実しており、おおよその小児疾患については当院で完結することが可能です。

多くのさまざまな専門分野の指導医のもと、効率よく充実した小児科研修ができると思います。ぜひ、当院で小児科医の醍醐味を味わってください。

週間スケジュール（例）

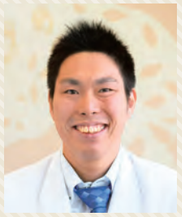
- モーニングカンファレンス（月～金 / 8:30～ 前日の入院患者、問題のある患者の検討）
- チームカンファレンス（small groupによる症例検討）
- 小児科症例検討会（毎週木曜日 / 17:30～ 新生児カンファレンス含）
- 神経カンファレンス（毎週金曜日）
- 循環器カンファレンス（週2回 / 心臓血管外科等の関連診療科と合同）
- 血液カンファレンス、内分泌カンファレンス（週1回）
- モーニングレクチャー（毎週木曜日 / 専門医が研修医向けトピックスを紹介）
- 院内症例報告会（3月に1回程度 / 診療部、看護部合同で研修医等によるミニ学会形式の報告会を行い、症例のまとめ、学会報告のトレーニングを行います）
- 研修医英会話教室（毎月曜日 / 希望者にNativeによるレッスンを行っています）

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	小児科一般（common disease、手技の獲得など）											
2年次	新生児（NICU）						小児科（ER、PICUなど）					
3年次	地域医療（連携施設）						小児科一般（外来など）					

研修医からのMessage

富井 聡一　東海大学卒／埼玉県出身　専門研修1年目



初期臨床研修を経て現在小児科後期臨床研修医となり香川県に来て3年が経ちました。埼玉出身で香川県には縁もゆかりも無い私でしたが、指導熱心な先生方や熱い志を持つスタッフの皆さんに温かく迎えられ充実した日々を送っています。

1次～3次医療まで担っているため当院では風邪や喘息などの一般的なcommon diseaseから外傷や先天性の循環器疾患など集中治療管理を必要とする疾患を持つ患者さんを診ることができます。小児科の中でも循環器や神経、内分泌・代謝、感染症、小児外科、新生児科などさまざまな専門を持った先生方がたくさん在籍されており、困った時にはフランクに相談できるのも当院ならではの魅力です。

当院は小児科専門医研修基幹施設に認定されており小児科を志す方であれば申し分ない病院だと思います。

麻酔科専門研修プログラム

プログラムの特徴

本専門研修プログラムは、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成します。

本研修プログラムでは、バラエティに富む症例を経験できる連携施設での研修を特徴とし、研修修了後は、香川県の地域医療の担い手として県内の希望する施設で就職が可能となります。

取得可能なサブスペシャルティ
麻酔科専門医、心臓血管麻酔専門医、小児麻酔学会認定医

連携施設
徳島大学病院、高松市立みんなの病院、高松赤十字病院
香川労災病院、小倉記念病院、聖隷浜松病院

専門研修 7 臨床研修

三豊総合病院

▶http://www.mitoyo-hosp.jp/

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数	年間手術数
462床	3,210件

医師数 令和4年10月1日現在
96人
指導医 45人
研修医 9人

1日の平均患者数 令和3年度実績
外来 795.5人
入院 342.9人
救急 27.0人

所在地	香川県観音寺市豊浜町姫浜708番地
開設年	1951年（昭和26年12月1日）
開設者	観音寺市、三豊市
院長名	山田 大介
診療科目	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、神経内科、心療内科、精神科、小児科、外科、整形外科、形成外科、消化器外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、リウマチ科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科
その他	［関連施設］保健福祉総合施設「すこやか」、介護老人保健施設「わたつみ苑」

Access Map

【交通】
◎JR豊浜駅から徒歩約5分、JR観音寺駅から車で約15分
◎大野原ICから国道11号を車で西に約5分

病院の特徴

三豊総合病院は、香川県西端の観音寺市にある公立病院です。近隣に同規模の医療機関がなく、香川県西部、愛媛県東部および徳島県の一部からも、一次・二次・三次救急の患者を受け入れています。地域の中核病院であるとともに、臨床の第一線病院です。

平成23年には免震構造の新棟（病棟・救命救急センター・手術室・ICU含）を整備し、災害拠点病院としての備えを充実しました。地域住民、他医療機関や施設の満足が得られる医療水準を維持するよう環境の整備を行っています。

当院は平成22年に卒後臨床研修センターを設立し、卒後臨床研修評価機構の認定病院です。

臨床研修病院として将来を担う次世代の良医を養成する役割を果たすため、病院全体で医師の臨床研修を積極的にサポートします。

研修責任者からのMessage

山田 大介　臨床研修管理委員会委員長・院長　岡山大学卒／香川県出身

当院は香川県西部に位置する公的総合病院です。香川県のみならず、愛媛県東部～徳島県の一部も診療圏としております。地域の基幹病院であり、周辺に同規模の施設がない事もあり、仕事は非常に忙しいとは思いますが、その分短期間にたくさんの経験を積むことが出来て実践的な力をつけることが可能です。

病院全体でしっかりと研修医の方を指導・サポートしています。前向きで協調性を持った皆さん、当院で我々と一緒に頑張りましょう。

臨床研修プログラム

プログラムの特徴

初期臨床研修が必修化された背景には、プライマリケアの実践ができる医師を国民が求めていることがあります。当院は地域中核病院として、さらには、がん拠点病院、地域救命救急センターとして、地域の1次、2次、3次の幅広い領域を担当している病院であり、初期臨床研修には非常に適した病院であると自負しております。

当院の初期臨床研修の特色は、豊富な症例数に基づく実践力の養成です。幅広い知識ももちろん必要ですが、初期臨床研修においては、自ら参加した多くの経験が必要であり、その経験は必ずや将来の皆さんの医師としての実力の強固な土台となります。当院の年間救急車搬送件数は2,855台、救急患者数は9,869名です（令和3年度）。2年間の初期臨床研修が終了する頃には、皆さんの心の中に当院での色々な思い出とともに、心地よい充実感が生まれているものと思います。

連携施設
本山町立国民健康保険嶺北中央病院、高知市土佐山へき地診療所
四万十町国民健康保険十和診療所、四万十町国保大正診療所
大井田病院、渭南病院、田野々診療所、財田診療所
観音寺市国民健康保険伊吹診療所、こころの医療センター五色台
香川県立丸亀病院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内　科							外　科		小児科	救急	救急 or 産婦人科
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次	地域	精神	救急 or 産婦人科	将来専門とする診療科								

募集要項

［募集予定数］6人
［選考方法］筆記・面接試験
［待　遇］【給与】基本給・月額
〈1年次〉400,000円〈2年次〉420,000円
【賞与】年額〈1年次〉540,000円〈2年次〉840,000円
【手当】時間外手当、宿直・日直手当
【休暇】有給休暇（1年次:15日、2年次:20日）、特別休暇等
［社会保障］健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険、医師賠償責任保険（病院において加入）個人加入は任意
［勤務時間］原則として8:15～17:00（週休2日）
準夜勤務 17:00～24:00（週1回程度）
日直勤務 8:15～17:00（月1回程度）
※準夜、日直勤務は指導医とともに当たります。
［宿　舎］エアコン・駐車場あり、家賃自己負担額は月額13,000円から

臨床研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先
〒769-1695 香川県観音寺市豊浜町姫浜708番地　三豊総合病院　医局支援課 石川
TEL:0875-52-3366　FAX:0875-52-4936　メール:residency@mitoyo-hosp.jp
http://www.mitoyo-hosp.jp/rinsho/

研修医からのMessage

松本 啓輔　香川大学卒／香川県出身　臨床研修2年目

当院は病床数が500床弱の中規模の総合病院です。周りに同規模の病院がなく、コモンな疾患を持つ患者が多く集まるため、最初はよくある疾患を診られるようになりたいと思い当院を研修先に選びました。

また、手技がたくさん出来る、というのも決め手の一つでした。腹部・心臓エコー、内視鏡以外にも、腹水穿刺やCV挿入、スワンガンツ、TACEの一部分などを経験することができるだけでなく、胸腔ドレナージ等も経験することができます。日直・準夜の救急外来では、出来るようになってくれば、上級医に報告しながら、ファーストタッチから患者を帰宅・入院させるところまで担当させてもらえます。

三豊にくれば、色々なことが経験出来ます。気になる方は、是非一度見学に来てください。

専門研修 7 臨床研修

三豊総合病院　専門研修プログラム

「内科専門研修プログラム」と「総合診療専門研修プログラム」の２つのプログラムを提供しています。

募集要項

［募集予定数］内科：６人、総合診療科：２人
［応 募 資 格］２年間の初期臨床研修プログラム修了者または、令和５年度３月までに初期臨床研修修了見込の者
［選 考 方 法］書類選考および面接試験
［ 待　　遇 ］【給与】年額 ※賞与・諸手当含む
〈1年次（卒後3年目）〉約10,000,000円
〈2年次（卒後4年目）〉約11,000,000円
〈3年次（卒後5年目）〉約12,000,000円
［社 会 保 障］地方公務員共済組合、地方公務員災害補償
［勤 務 時 間］8:15～17:00（週休２日）
［ 当　　直 ］あり
［ 宿　　舎 ］医師官舎（家賃自己負担額は月額13,000円から）
病院から500m以内の近隣に複数棟用意。オール電化・駐車場完備、ワンルームタイプはエアコンあり。自身で住宅を賃貸する場合は住宅手当として最高で月額28,000円を補助
［そ　の　他］【休暇】週休2日制（土日祝・宿日直あり）
年次有給休暇：採用年は15日付与（毎年1月に20日付与）、産前産後休暇、育児休暇、その他休暇（特別休暇、結婚、子の看護、介護休暇、忌引 等）

専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒769-1695 香川県観音寺市豊浜町姫浜708番地　三豊総合病院　医局支援課 松本
TEL:0875-52-3366　http://www.mitoyo-hosp.jp/rinsho/

内科専門研修プログラム

プログラムの特徴

基幹病院である当院は、香川県三豊医療圏だけではなく、愛媛県四国中央市からの患者も受け入れる急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核であります。一方で、地域に根差す第一線の病院でもあり、common diseaseの経験はもちろん、超高齢化社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所への出張診療で病診連携も経験できます。

幅広い疾患群を順次経験していく中で、内科の基礎的診療を繰り返し学び、患者の抱える多様な背景に配慮する事や、疾患や病態に特異的な診療技術を経験できます。

取得可能なサブスペシャルティ
消化器内視鏡専門医、循環器内科専門医、消化器病専門医、腎臓内科専門医、糖尿病専門医

連携施設
香川大学医学部付属病院、岡山大学病院、香川県立中央病院
高知赤十字病院、さぬき市民病院、高松平和病院
香川労災病院、小豆島中央病院、綾川町国民健康保険陶病院
直島町立診療所、高松市民病院塩江分院、三豊市立みとよ市民病院
まんのう町立国民健康保険美合診療所、造田診療所
香川県立白鳥病院、岡山市立市民病院、岡山赤十字病院
倉敷中央病院、津山中央病院

研修スケジュール（例）

内科基本コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科（三豊総合病院）										循環器科（三豊総合病院）	
2年次	1年目で経験できなかった疾患が多い分野を中心に（連携施設）											
3年次	サブスペシャリティ領域に重点をおいた研修（三豊総合病院）											

自治医科大卒コース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	総合内科（三豊総合病院）										循環器科（三豊総合病院）	
2年次	連携施設にて研修											
3年次	特別連携施設にて研修											

指導医からのMessage

藤川 達也　内科主任部長　岡山大学卒／香川県出身

三豊総合病院・後期研修は総合内科プログラム、総合診療プログラムで研修することができます。総合内科プログラムでは循環器内科、消化器内科、腎臓糖尿病、総合内科を、また総合診療プログラムでは総合診療、内科、小児科、救急科をローテーションしながら各分野の疾患を万遍なく、上級医サポートのもと主治医として経験することができます。

国内の学会で定期的に発表する機会を得られることは当然として、希望者には国際学会での学会発表、英語論文執筆の機会も得られます（実績多数あり）。

このように専門医資格を得るために十分な症例、手技を経験できるだけでなく今後、専門医として他院や大学病院で診療する際に必要なリサーチマインドを培うこともできる当院の後期研修をぜひお勧めいたします。

総合診療専門研修プログラム

プログラムの特徴

本プログラムは、病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、ER型救急や急性期専門各科を有する地域拠点病院のなかで、専門各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的としています。香川県に居住する地域住民、各種団体、ボランティアや当院の全職員の理解と協力のもと、研修できる環境を整えています。総合診療専門研修1、総合診療専門研修2、内科、小児科、救急科の５つの必修科と選択診療科で３年間の研修を行い、総合診療専門医に欠かせないコアコンピテンシーを効果的に習得できます。

連携施設
岡山大学病院、香川県立中央病院
高松平和病院、さぬき市民病院
綾川町国民健康保険陶病院
小豆島中央病院、直島町立診療所
まんのう町国民健康保険美合診療所・造田診療所
高松市民病院塩江分院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科（三豊総合病院）						総合診療Ⅱ（三豊総合病院または岡山大学病院、高松平和病院）					
2年次	総合診療Ⅰ（小豆島中央病院または、直島町立診療所、さぬき市民病院、綾川町国民健康保険陶病院、まんのう町国民健康保険造田・美合診療所、高松市民病院塩江分院）											
3年次	内科（香川県立中央病院）			救急（香川県立中央病院）			小児科（三豊総合病院または香川県立中央病院）			内科（三豊総合病院または香川県立中央病院）		

研修医からのMessage

松村 吉晃　岡山大学卒／香川県出身　専門研修3年目

当院は都会の有名病院のような華やかさはなく、入職当時に抱いた「田舎の病院」というイメージは今も変わりはありません。しかし、「指導医の目がしっかり届く」研修環境であり、同じ科の上級医のみならず、他科の医師にも気軽に相談できる環境でcommonからrareな疾患まで豊富な症例を経験することができます。

現在は消化器内科を中心にローテートしておりますが、当院は県内でも有数の内視鏡件数を誇るばかりか、「研修医が内視鏡を挿入できる」病院です。当院に長年在籍される指導医の言葉に「ベンツの助手席に座るのではなく、軽トラを自分の手で運転できる」という言葉がありますが、この方針が随所に浸透しており、あらゆる内視鏡検査・手技を数多く経験することができます。

当院にご興味がある先生方はぜひ見学にいらしてください。

専門研修 8 臨床研修

総合病院 回生病院

▶http://www.kaisei.or.jp/

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数	年間手術数
397床	2,164件

医師数
49人
指導医 30人
研修医 2人

1日の平均患者数
外来 450.3人
入院 272.9人
救急 14.2人

所在地	香川県坂出市室町三丁目5番28号
開設年	1976年（昭和51年）
開設者	社会医療法人財団大樹会　理事長 松浦 一平
院長名	杵川 文彦
診療科目	内科、呼吸器内科、血液内科、消化器科、気管食道科、循環器科、神経科、神経内科、小児科、心療内科、精神科、外科、呼吸器外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、性病科、肛門科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、ペインクリニック内科、臨床検査科、病理診断科
その他	病床数：一般346床、精神51床

Access Map

【交通】
◎JR坂出駅から
・徒歩約10分　・タクシー約3分

病院の特徴

当院は本州と四国の玄関口となる香川県坂出市に位置しています。2006年に地域医療支援病院、2008年には社会医療法人の認定を受け、より公益性の高い病院へと進んでまりました。現在365日24時間、1次～3次までの急性期医療を担うべくスタッフ一丸となって日夜医療に取り組んでいます。

また、所在地の特徴から瀬戸内海の島々からの患者を迅速に受け入れるため救急ヘリが発着可能なヘリポートも有しています。診療科としては全国的に減少傾向にある産婦人科、精神科の診療も行っており、幅広い疾患に対応できる体制を整えています。

研修責任者からのMessage

三浦 歓之　プログラム責任者・外科課長　大阪医科大学卒

「どういう医師になりたいの?」と聞かれて、皆さんはどう答えますか?医師になる自覚、プロフェッショナルを目指すためにどの病院で何をするのかというVisionを、皆さんはお持ちでしょうか。

初期臨床研修の2年間は意外とあっという間です。当院では地域の方々から安心され、信頼されることをモットーとしており、症例は重症から軽症までさまざまな患者様が来られます。その中で修練した当院の卒業生は、コシのある地域の皆様から愛される讃岐出身の医師として全国で活躍しています。

医師力（知力、体力、技術力、判断力、人間力、魅力）を当院で培ってみませんか。自ら学ぼうとしている姿勢の中で受けた熱い指導は、皆さんの一生モンの宝になることでしょう!

臨床研修プログラム

プログラムの特徴

将来、どの専門分野を目指すにしても、医師としての基礎体力をつくるのが初期研修です。医療全般に対する広い視野、基本的な診療能力や緊急時の対応力、チーム医療に必要なコミュニケーション能力、適切な患者・医師関係を築くことのできる社会性、生涯に渡る自己学習の習慣などは最初の1～2年のうちに身につけるべきだと私たちは考えています。そのため、当院の研修プログラムの特徴として第一に、診療科の枠を超えてチーム医療を実践していること、第二に、プライマリ・ケアと救急医療が充実していることが挙げられます。

2020年度からのプログラム改訂による新プログラムでは必須科目が国の規定により増えますが、当院では必須科目となる内科、救急科、外科、小児科、産婦人科、精神科の全てに指導医が揃っております。また大学や他専門施設を協力病院としておりますので満足度の高い2年間が過ごせると考えています。必須である一般外来研修についても当院で履修することが可能です。

また、医局は総合医局ですので、研修中の科に縛られることなく全ての科の医師に必要時にコンサルトすることが可能です。これによりスキルを築くとともに、医師として人としてしっかりとした素地を形成でき、満足度の高い2年間が過ごせると考えています。

連携施設
香川大学医学部附属病院、高松赤十字病院
四国こどもとおとなの医療センター
こころの医療センター五色台、高松赤十字病院
綾川町国民健康保険陶病院、高松赤十字血液センター

研修スケジュール（例）

必須科目である内科、救急科、外科、小児科、産婦人科、精神科の全てに指導医が揃っています。眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳外科、放射線科、病理診断科も選択可能。**一般外来研修についても当院で全て履修することが可能。**
また大学や他専門施設を協力病院としておりますので満足度の高い2年間が過ごせると考えています。

内科	救急科	外科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目
24週	12週 4週まで麻酔科可	5週	5週	5週	5週	4週	

回生病院以外での院外研修も可
内科・麻酔科・救急科▶香川大学医学部附属病院
小児科▶高松赤十字病院、四国こどもとおとなの医療センター
精神科▶こころの医療センター五色台
皮膚科▶高松赤十字病院
地域医療▶綾川町国民健康保険陶病院、高松赤十字血液センター

募集要項

［募集予定数］6人
［応募資格］医師免許取得者または取得見込みの者、医師臨床研修マッチングに参加（予定）の者
［選考方法］面接
［待　　遇］【給与】月額〈1年次〉410,000円〈2年次〉450,000円
【賞与】年額〈1年次〉480,000円〈2年次〉500,000円
［社会保障］健康保険、雇用保険、厚生年金、労災保険
［勤務時間］1週37.5時間(月～金曜日/8:30～17:00)
［当　　直］〈1年次7月から〉4回/月(～22:00)(10,500円/1回)
〈2年次〉4回/月(21,000円/1回)
［宿　　舎］病院指定の住宅(家賃負担なし)
［そ の 他］年次有給休暇、学会参加補助制度有

臨床研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先
〒762-0007 香川県坂出市室町三丁目5番28号　総合病院回生病院　臨床研修担当 桑
TEL:0877-46-1011(代)　FAX:0877-45-6410(代)　http://www.kaisei.or.jp/resident/

研修医からのMessage

徳永 奈己　徳島大学卒／徳島県出身　研修終了

当院の研修では、少人数での研修のため症例の取り合いがなく、手技もしっかりと学ぶことができます。2年目は選択期間も長く、また外病院での研修も可能であり、自分の将来の専門科などに合わせて自由度の高い研修を行う事ができます。指導医の先生方との距離も近く、相談しやすい環境にあることも良い点だと思います。2年間の研修の中でしっかりと学んだことを身につけられ、また自分の進路に向き合い考えることができると思います。

研修先を決めるのに大切なことは、自分が譲れない条件を明確にすることだと思います。人それぞれ重視する点があると思うので、まずはその点をじっくりと考えて、病院見学に臨んでみてください。

専門研修 8 臨床研修

総合病院 回生病院

専門研修プログラム

「整形外科専門研修プログラム」と「救急科専門研修プログラム」の2つのプログラムを提供しています。

募集要項

[募集予定数] 整形外科：各年次2人（合計8人）、
救急科：各年次2人（合計6人）
[応 募 資 格] 初期研修修了予定者
[選 考 方 法] 面接
[待　遇] 【年俸】
〈1年次（卒後3年目）〉10,420,000円
〈2年次（卒後4年目）〉11,140,000円
〈3年次（卒後5年目）〉11,700,000円
[社 会 保 障] 健康保険、雇用保険、厚生年金、労災保険
[勤 務 時 間] 1週37.5時間（月～金曜日/8:30～17:00）
[当　直] 3回/月（平均）、35,000円/1回
[宿　舎] 住宅手当21,500円/月（賃貸に限る）

専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒762-0007 香川県坂出市室町三丁目5番28号　総合病院回生病院　臨床研修担当 粂
TEL:0877-46-1011(代)　FAX:0877-45-6410(代)　http://www.kaisei.or.jp/resident/

整形外科専門研修プログラム

プログラムの特徴

回生病院整形外科は県下で有数の症例数・手術件数を誇り、経験豊富な整形外科専門医7名（指導医6名）が指導に当たる県内でも屈指の研修施設です。救急科との密接な連携のもと、多発外傷・開放骨折・脊髄損傷等の重症外傷症例も多く、整形外科領域の基礎となる外傷領域の充実した研修が可能です。

また、脊椎・股関節・膝関節・肩関節・リハビリ・スポーツ整形外科領域、それぞれに専門医が在籍し、基礎的な研修を超えたサブスペシャルティ領域の研修も可能です。

また、専門研修プログラムでは急性期治療の研修の色合いがどうしても強くなりますが、当院には地域包括ケア病棟も併設されているため、急性期以後の治癒過程の経験も可能です。

連携施設
福岡大学、徳島大学、川崎医科大学、高松赤十字病院
四国こどもとおとなの医療センター、三豊総合病院
高松市立みんなの病院、船橋整形外科病院
米盛病院、近森病院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	回生病院											
2年次	回生病院											
3年次	回生病院						大学病院					
4年次	回生病院　もしくは　連携施設											

指導医からのMessage

片山 直志　整形外科課長　岡山大学卒／香川県出身

研修医の皆さん、こんにちは。本プログラムは、全国でもまれなプログラムです。それは、自分の将来のビジョンをもとに、研修医自身がプログラム構成を行っていく点です。形式上ある程度の枠組みはお示ししていますが、基本的には自由度を高くしてあります。当初3年間は基幹病院（当院）を中心に、整形外科専門医として経験しなければならない疾患を集中的に研修を行います。また、当院はその病院機能の性格上、外傷症例が多く、県内外よりの重症外傷が搬送されてくるため、結果的に、あらゆる外傷症例への対応力を身に着けることになるでしょう。そして最後の1年間で、自分が特に興味を持ってさらに深めていきたい分野の研修をできるようにプログラム構成をサポートします。当院を含め関節・脊椎・スポーツ領域の全国的な指導医・症例数を要する病院を研修病院としてありますので、そこから興味に応じて選択が可能です。また、地域での開業も視野にある方には、実際の地域医療の現場・経営も含めて研修可能です。

大学型プログラムでは不可能な、フレキシブルな研修に興味があるかたはぜひ見学にいらしてください。みなさんと、楽しく激しく働けるのを楽しみにしています。

研修医からのMessage

H・Y　川崎医科大学卒／徳島県出身　研修終了

私が、後期研修を当院の整形外科で研修しようと思った理由は、2点あります。

まず、患者が交通事故などの外傷で運ばれて来た場合、整形外科領域以外の疾患（頭蓋内・腹腔内出血など）を有することも多くあります。しかし、当院では、救急や内科など他科の先生方にも相談しやすく、全身管理で悩んでいても介入していただいたり、管理のアドバイスを気軽に教えてくれます。次に、同期が1～2名の中規模病院ですので、一人が経験できる症例の数が多くなります。執刀の機会も実力に応じてどんどんもらえます。

手技を磨くと同時に、後期研修医の段階から国内外の学会発表会の機会を積極的に設けてくれます。国際学会の機会もあり中国、南アフリカでの発表の機会もいただき、緊張の連続でしたが有意義な時間を過ごせました。

救急科専門研修プログラム

プログラムの特徴

回生病院救急センターの特徴は、外来で対処し得る初期救急医療から、入院治療を必要とする二次救急医療、複数診療科にわたる特に高度な処置が必要な重篤な患者へも対応していることです。

救急車専用入口には除染設備を完備し、化学災害時や、熱中症・低体温症などの体温管理時にも使用しています。また、病院屋上にはヘリポートを有し、瀬戸内海の離島や遠隔地からの傷病者搬送に役立てています。院内には災害派遣チームDMATを有し、メンバーは県、国から依頼を受け指導にもあたっています。

6カ所の連携施設にて、専門研修3年間で多岐にわたる症例を経験し、充実した専門研修を送ることができます。

連携施設
香川県立中央病院、坂出市立病院
四国こどもとおとなの医療センター、三豊総合病院
医療法人倚山会田岡病院（徳島県）、大阪大学医学部附属病院

週間スケジュール（例）

	月	火	水	木	金
午　前	ER	ER	病棟（HCU）回診	病棟（HCU）回診	ER
午　後	病棟（HCU）回診	病棟（HCU）回診	病棟（HCU）回診 心臓血管カテーテル	ER	ER

専門研修 9 臨床研修

高松平和病院

▶http://www.t-heiwa.com

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数	年間手術数
123床	約200件

医師数

指導医	8人
研修医	3人

1日の平均患者数

外来	160.4人
入院	117.0人
救急	3.9人

所在地	香川県高松市栗林町一丁目4番1号
開設年	1949年（昭和24年）
開設者	香川医療生活協同組合 理事長　北原 孝夫
院長名	原田 真吾
診療科目	内科家庭医療科、消化器科、循環器科、呼吸器科、緩和ケア科、整形外科、小児科、リハビリテーション科、乳腺外科、病理科、リウマチ科、アレルギー科
その他	［併設施設］へいわこどもクリニック、老人保健施設「虹の里」、生協へいわ歯科、訪問看護ステーション「ひまわり」

Access Map

【交通】
◎JR栗林駅、ことでん栗林公園駅から徒歩約10分
◎バス停「栗林公園」下車

病院の特徴

当院は、1949年の診療所開設を出発点として1951年に病院を開院し、1953年に全日本民医連に加盟し、働く人たちの医療機関として無差別・平等の医療を目指して診療を行ってきました。さらに、1980年に香川医療生活協同組合となってからは、非営利・協同の組織として地域の組合員さんと一緒に健康づくり・明るく安心して暮らせるまちづくりのためにさまざまな活動を行っています。その特徴として、いつでも、どこでも、だれでもが安心してかかることができる医療・福祉の実現を目指した活動に取り組んでいます。

第1に、プライマリケアを重視した地域の第一線病院・一般病院としての役割を果たし、急性疾患から慢性疾患まで幅広い疾患に対して、中小病院のメリットを生かして総合的・全人的な医療を実践しています。第2に地域の組合員や患者とともに健康づくりの運動を進めています。第3に、急性期から慢性期、さらに終末期まで、生活や生涯に寄り添える医療・福祉の連携を目指しています。

2011年7月には県庁所在地の高松市内で初となるホスピス緩和ケア病棟の開設をしました。

1～2次医療を中心に患者のライフステージに見合った総合的な医療の提供を目指して、医療福祉生協連の「いのちの章典」にもとづく患者を中心としたチーム医療の充実、関係医療・福祉機関とのネットワークなどを進めています。

研修責任者からのMessage

佐藤 龍平　医長・プログラム責任者　鹿児島大学卒／香川県出身

高松平和病院は1949年の創立以来、「いつでも、どこでも、だれでも」安心して医療が受けられるよう、地域の方々と協力し合って発展してきた第一線医療機関です。当院では1986年より新卒の臨床研修を開始し、その実績のもと、2004年より始まった卒後臨床研修に取り組んでいます。外来、入院、救急医療だけでなく、往診・訪問サービス、健診、小児発達相談、緩和ケア、生活・社会保障制度など全人的な医療と生活や労働、介護を視野に入れた幅広いフィールドでの研修が特徴です。

地域医療真っただ中の現場をいっしょに経験していただき、地域の人々の命と生活を守る仕事に情熱を傾ける医師が一人でも多く生まれることを願って臨床研修に力を注いでいきたいと考えています。

臨床研修プログラム

プログラムの特徴

当院では、当院の基本理念・方針に基づき、プライマリヘルスケアの基本的診療能力と一定の専門性を併せ持った患者・地域住民の要求に幅広く応えていくことができる医師養成を目指しています。特に初期2年間の臨床研修の期間は、医師としての基本的な能力を習得する重要な期間として位置づけ、30年以上に渡り、スーパーローテート方式による総合的な診療能力の獲得のための研修を実践してきた実績・経験があります。

臨床研修制度の理念と到達目標にこだわったスーパーローテート方式の研修プログラムを堅持しつつ、一般外来研修や緩和ケア病棟など特色を生かした研修が可能です。また、SDHやHPHの視点を持つ地域医療のプロフェッショナルとしての医師を養成していきたいと考えています。

(1) 問題解決型、自己学習能力を涵養するプログラム

一人一人の患者さんにじっくり関わる中で、基本的な知識、技能はもちろん、患者さんの抱えるさまざまな問題から出発し解決していく能力や自ら学び取れる能力を修得できるよう、基本診療科である内科を中心としたプログラム。また診療科の垣根が低く、指導医へのコンサルトが容易、common diseaseの経験が豊富です。

(2) さまざまな職種、研修医自身もカスタマイズできる研修

全科の医師集団を始め、さまざまな職種との対等なチーム医療の実践。研修医内容について、医師研修委員会や研修医会議での意見交換を通じて、研修医自身が研修内容をカスタマイズできます。

(3) 全国組織としてのネットワークを活かし、研修システムや指導水準の向上を絶えず推進

全日本民主医療機関連合会、日本医療福祉生協連に加盟する全国組織のネットワークを活かして、定期的に開催される全国、地域レベルでの研修会、学会、研修会への参加を積極的に促進。

連携施設　へいわこどもクリニック、高松協同病院、水島協同病院、高松赤十字病院
香川県立中央病院、三光病院、林道倫精神科神経科病院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	内科			救急		整形外科	緩和ケア	小児科	救急	外科	
2年次	内科			地域医療	小児科	産婦人科	精神科	選択				

募集要項

［募集予定数］3人
［応募資格］2024年度卒業見込み者および医師国家試験合格者で臨床研修未実施者
［選考方法］面接、小論文
［待　　遇］常勤
【給与】月額〈1年次〉360,000円〈2年次〉390,000円
［社会保障］健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、共済制度等
［勤務時間］8:30～17:00
［当　　直］1年目副直、2年目後半から主直、月4回程度
［宿　　舎］なし（法人契約で確保する。住宅手当あり）
［そ の 他］休暇：4週8休、有給休暇、リフレッシュ休暇、年末年始休暇あり。その他出産休暇、育児休暇、介護休暇制度あり。

臨床研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒760-8530 香川県高松市栗林町一丁目4番1号　高松平和病院　医局事務課 末澤理恵
TEL:087-833-8113（代）　FAX:087-831-1254（代）　http://heiwahp.com/

研修医からのMessage

三野 比花里　高知大学卒／香川県出身　臨床研修2年目

当院は病床数123床の中小病院ではありますが、大病院と違って科別・臓器別の垣根がなく、常に総合的な思考が要求される環境です。肺炎を見ながら不整脈を管理し、さらに看取りを経験する…という具合です。また、見るべき症例・手技があれば、指導医・上級医を問わずコールがかかり、経験することができます。

また、病院全体が「うちの研修医」を育てようという雰囲気があり、コメディカルをはじめスタッフ全員が研修医のことを気にかけている温かい雰囲気も特筆すべき点です。研修医の数と病院の規模がちょうどいいからこそできることだと思います。

専門研修 9 臨床研修

高松平和病院

専門研修プログラム

「総合診療専門研修プログラム」を提供しています。

募集要項

[募集予定数] 2人
[応 募 資 格] 医師免許、初期臨床研修修了（見込み）
[選 考 方 法] 書類審査、面接
[待　　遇] 常勤
【給与】月額〈1年次（卒後3年目）〉377,900円
〈2年次（卒後4年目）〉385,000円
〈3年次（卒後5年目）〉412,000円

[社 会 保 障] 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、共済制度等
[勤 務 時 間] 8:30～17:00
[当　　直] 月4回程度
[宿　　舎] なし
[そ　の　他] 休暇：4週8休、有給休暇、リフレッシュ休暇、年末年始休暇あり。その他出産休暇、育児休暇、介護休暇制度あり。

専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒760-8530　香川県高松市栗林町一丁目4番1号　高松平和病院　医局事務課 末澤理恵
TEL:087-833-8113(代)　FAX:087-831-1254(代)　http://heiwahp.com/

総合診療専門研修プログラム

プログラムの特徴

高松平和病院は、かかりつけ医として地域医療を支え、地域住民の健康に関わる問題について総合的な診療能力を有する医師を養成するため、「高松平和病院の理念・基本方針」に基づき、連携施設と協力し、以下の総合診療研修を実施します。

1. 総合診療専門医の質の向上を図り、国民の健康・福祉に貢献することを目的とする。

2. 総合診療専門医が誇りをもって活躍し、地域の患者・住民の人権を守り、健康づくりと明るい街づくりに貢献できるプライマリ・ヘルスケアの実践素養を養う。

本研修プログラムの基幹施設及び多くの連携施設は、総合診療・家庭医療・専門領域として基本的な総合診療を幅広く実践し、地域医療・総合診療の第一線を担っている医療機関です。3年間の研修期間を通したOn-the-Job Traningによって診療能力を修得できます。

連携施設

総合診療Ⅰ：綾上診療所、伊予診療所、総合診療Ⅱ：愛媛生協病院
内科：三豊総合病院、水島協同病院、岡山協立病院
小児科：へいわこどもクリニック、救急科：香川県立中央病院、水島協同病院
選択科：①高松平和病院（整形外科、内科、小児科）、②水島協同病院（皮膚科）、③岡山協立病院（泌尿器科）
僻地：伊予診療所、綾上診療所

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科：高松平和病院（病棟、検査、在宅、外来）											
2年次	総診Ⅱ：高松平和病院／愛媛生協病院（病棟、検査、在宅、外来）						総診Ⅰ or 総診Ⅱ 診療所 or 病院					
3年次	総診Ⅰ：伊予診療所／綾上診療所（在宅、外来）						小児科：へいわこどもクリニック・高松平和病院			救急：香川県立中央病院／水島協同病院		

指導医からのMessage

佐藤 龍平　医長　鹿児島大学卒／香川県出身

高松平和病院で家庭医をしている佐藤です。これを読んでいるあなたは「家庭医ってちょっといいな」と思っていることでしょう。実は…ちょっとどころでなく、家庭医はとてもよいのです!

家庭医は「かかりつけの専門」として、コモンな疾患に対応できます。

家庭医は小児・青年・高齢者など幅広く診療し、必要な予防医療を提供できます。

家庭医は家族志向のケアなど専門スキルを使って、一見対応が難しいようなケースもうまくマネジメントできます。

家庭医は地域に働きかけ、より健康的なコミュニティを作ります。

家庭医は医学教育が得意で、学生や研修医と一緒に成長します。

日々やりがいと楽しみをもって家庭医ライフをエンジョイしています。あなたが当院で一緒に学び、楽しむ日々をお待ちしています。

週間スケジュール（例）

	午 前	午 後	セ ミ ナ ー 等
月	病棟	初診外来	
火	救急担当	病棟	消化器学習会
水	検査	内科総回診	救急カンファレンス
木	訪問診療	病棟	内科カンファレンス、レジデントデイ
金	外来	病棟	レントゲンカンファレンス（月1回）
土	病棟/外来/公休	–	–

研修医からのMessage

植本 真由　香川大学卒／滋賀県出身　専門研修修了

総合診療研修プログラムを修了した植本真由です。地域や患者さんの健康増進のお手伝いができる家庭医・かかりつけ医を目指して勉強中です。

当院や関連病院では、地域ど真ん中ならではのさまざまな困難を抱えた患者さんを担当し、医学的な問題だけではなく心理的、社会的なアプローチも考え行動できます。

「もうどうすれば良いのかわからない」と悩むことはしょっちゅうですが、地域医療を実践してきた指導医や職員に助けられ、現状での最良の着地点を見つけていきます。症例はきちんと振り返り、成長に繋げます。

もちろん、困難事例だけではなく、commonな疾患や生活習慣病の患者さんにもたくさん出会えます。自分と出会い患者さんが食習慣を変えた、煙草をやめた、などの変容を経験すると、とても嬉しく、地域医療のやりがいを感じます。

専門研修
10

KKR高松病院

▶https://takamatsu.kkr.or.jp/

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数	年間手術数
179床	1,007件

医師数 38.4人
指導医 21人
研修医 6人

1日の平均患者数
外来 417人
入院 121人
救急 5.9人

所在地	香川県高松市天神前4-18
開設年	1951年（昭和26年6月18日）
開設者	国家公務員共済組合連合会 理事長　松元 崇
院長名	森 由弘
診療科目	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、アレルギー科、脳神経内科、外科、泌尿器科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、婦人科、代謝内分泌内科、腎臓内科、脳神経外科、リウマチ科、消化器外科、呼吸器外科、麻酔科、人間ドック、各種健康診断、特定健診

Access Map

【交通】
◎高松中央ICから車で約20分
◎JR高松駅でJRからことでん（高松築港駅）へ乗り換え、ことでん瓦町駅から徒歩約10分

病院の特徴

当院は、高松市中心にある179床の急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核です。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できます。

診療目標として重視する4つのキーワードは、**1）救急医療　2）予防医学　3）地域医療と病診連携　4）研修医養成**を挙げております。特に内科は消化器・循環器病センター、腎臓センター、糖尿病センター、呼吸・睡眠センターがあり生活習慣病を中心にチーム医療を行っています。

当院では診療科や職種の壁がなく職種横断的かつ機能的な医療提供を実践しています。2002年から内科学会教育病院でもあり、各診療科では多数の専門医・指導医が活躍しており、診療や教育体制が充実しています。

研修責任者からのMessage

森　由弘　院長　岡山大学卒／徳島県出身

総合内科から内科subspecialtyまで幅広い研修が可能です。総合内科コースは各科rotation方式ではなく臓器横断的なspiral研修です。救急患者は手術に助手として入室でき、さらに主治医として退院まで継続して診療にあたることができます。内科subspecialtyコースは、研修医の将来像を踏まえた要望や資質にマッチした柔軟な対応が可能です。そのため最短期間で専門医を取得できるように全面的にサポート体勢を整えております。また希望により国家公務員共済組合連合会（KKR）での研修（6ヵ月：国内留学制度）が可能です。

過去10年間で中国四国出身の初期研修医102人、後期研修13人が当院で研修しており、現在では市中病院や大学病院で診療の中心的役割を担っております。高い山は裾野が広いをモットーとして今まで全ての研修医に接してきました。裾野の広い専門医をめざして多数の研修医の参加をお待ちしております。

専門研修プログラム

内科専門研修プログラム

プログラムの特徴

当院の研修の特徴は common disease を多数経験し、入院から退院まで主治医として可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践、治療方針のdecision making を行い、疾患の全経過をじっくり診る診療能力を養うことです。

カンファランスやPECOに則った EBM Journal Club を毎週開催し、先進的で実践的かつ理想的な内科学教育を実践しています。研修終了後はその成果として、内科医としてのプロフェッショナリズムの涵養とGeneralなマインドを持ち、それぞれのキャリア形成やライフステージによって、これらいずれかの形態に合致することもあれば、同時に兼ねることも可能な人材を育成します。

超高齢社会を迎えた日本のいずれの医療機関でも不安なく内科診療にあたる実力を獲得していることを要します。

取得可能なサブスペシャルティ
総合内科、消化器内科、循環器内科、代謝内分泌内科
腎臓内科、呼吸器内科、血液内科、脳神経内科、アレルギー科

連携施設
香川大学医学部附属病院
川崎医科大学総合医療センター

研修スケジュール（例）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	臨床研修	基幹施設（KKR高松病院）											
		総合内科			全内科スパイラル研修								
	その他研修	JMECC・CPC・感染防御・医療安全・医療倫理											
	学術活動	内科学会への参加・可能なら発表または論文											
2年次	臨床研修	基幹施設（KKR高松病院）											
		全内科スパイラル研修									選択研修		
							週1回外来診療						
	その他研修	CPC・不足している研修・地域・他施設参加型カンファレンス											
	学術活動	学会への参加・発表または論文											
3年次	臨床研修	連携施設											
	その他研修	CPC・不足している研修・地域・他施設参加型カンファレンス											
	学術活動	学会への参加・発表または論文											

募集要項

［募集予定数］3人
［応 募 資 格］2年間卒後初期臨床研修を終了予定の医師、もしくは既に研修を終了している医師
［選 考 方 法］面接、口頭試問等
［ 待　　遇 ］病院独自の処遇とする
【給与】月額〈1年次（卒後3年目）〉565,312円
〈2年次（卒後4年目）〉583,524円
〈3年次（卒後5年目）〉602,200円
［社 会 保 障］健康保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険法の適用
［勤 務 時 間］8:30～17:15
［ 当　　直 ］毎月3～4回
［ 宿　　舎 ］住宅手当：28,000円
［そ　の　他］年次有給休暇、夏季休暇、年末年始休暇、創立記念日休暇、年1回健康診断

専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先
〒760-0018 香川県高松市天神前4-18　KKR高松病院　総務課　三宅貴大
TEL:087-861-3261　FAX:087-835-0793　https://takamatsu.kkr.or.jp/saiyo/program/index.html

研修医からのMessage

田岡 征高　岡山大学卒／高知県出身　（H28年卒）

KKR高松病院の魅力はなんといっても小規模病院の利点を生かしたチーム医療にあります。自分は呼吸器内科志望のため良性呼吸器疾患を含む幅広い呼吸器疾患の診療に関わることができました。また、その際に必要な呼吸ケアや栄養、肺と密接に関係する心不全などの循環器のケアについてNST（栄養サポートチーム）、RCST（呼吸ケア・サポートチーム）、CCT（心臓血管ケアチーム）それぞれのチームスタッフの方々にお世話になりながら知識を深めることができました。他科の先生も親身に相談に乗ってくださり、医師の数は多くありませんが、その分自分が主体的にさまざまなことに関わることができ医師として大きく成長できたと実感しています。

大病院ではできない特別な体験ができ、充実した専門研修になること間違いなしです。

指導医からのMessage

村尾 敏　診療部長・代謝内分泌内科部長
香川医科大学卒／徳島県出身

当院は179床の小規模な病院ですが標榜している診療科についてはそれぞれの学会の研修施設となっています。当院での研修を通じて各学会の専門医を取得することが可能です。また、定期的に剖検も行っています。

常に顔がみえる関係・他科に気軽に相談できる雰囲気があり小回りがきくことは、小規模の病院ならではの長所です。また、規模の大きい病院と異なり、自身の診療能力がそのまま結果に反映されることが多くなります。さまざまな施設で研修を行い、それぞれの特徴を経験して自身の力を振り返ることが医師としての成長に繋がります。

ぜひ当院で頑張ってみてください。

専門研修
11

こころの医療センター五色台

▶https://goshikidai.or.jp

病院概要 ※令和4年10月1日現在

病床数
280床

年間手術数
—

医師数
18人
指導医 5人
研修医 4人
※内歯科医師1名含む

1日の平均患者数
外来 227.9人
入院 275.7人
時間外精神科救急 27人/月

所在地	香川県坂出市加茂町963番地
開設年	1978年（昭和53年）
開設者	医療法人社団五色会 理事長・院長 佐藤 仁
診療科目	精神科、児童・思春期精神科、心療内科、内科、歯科
その他	精神科救急病棟を有し、24時間356日外来、入院患者の受け入れ。疾患、病状に対応したさまざまな精神科リハビリテーションプログラムを有する全国最大規模の精神科デイケア
関連施設	五色台クリニック、中讃地域生活支援センター、精神障害者グループホーム五色台、共同住居アビタチオーネ、就労継続支援施設B型ドリームワークス、訪問看護ステーションGステーション、事業所内保育園オリーブガーデン、介護老人保健施設五色台、指定居宅介護支援事業所五色台、グループホームたまもよし、介護付有料老人ホームやすらぎホームさぬきのくに

Access Map

【交通】
◎予讃線鴨川駅出口から徒歩約9分

病院の特徴

当院の特徴の第1番目は精神科救急病棟を有し、地域精神科医療を守る要として患者さんを24時間365日受け入れを実践していることです。

2番目の特徴は急性期治療を終えた後のリハビリテーションのメニューです。退院後の住居プログラムでは病院に隣接する24時間スタッフ常駐のグループホームから病院から離れた一般の方も住むアパート形式のグループホームまで患者さんの残存能力、希望にあわせて10ヵ所から選択することができます。また日中のリハビリテーションとして、当院のデイケアでは全国最大規模の325名の定員で5つのグループが就労、リワーク的なプログラムからADLの維持、レクリエーション的な要素の強いプログラムまで多岐に渡るプログラムが毎日展開されております。単に急性期の疾患の診断や、薬物治療だけではなく、患者さんの人生に寄り添う、長い視野の必要な慢性期の治療を経験することができます。

次にアルコール、薬物、ゲーム、ギャンブル依存等の依存症専門外来、入院治療を行っており、香川県からアルコール依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関に指定されております。

最後の特徴として児童・思春期専門外来、入院治療を行っていることであり、2024年には新外来棟と共に児童・思春期病棟が完成する予定です。児童・思春期専門医が中心となり、研修医にも配慮した症例検討カンファレンス等を行っております。

研修責任者からのMessage

佐藤 仁　理事長・院長　兵庫医科大学卒／香川県出身

精神科医療を実践するためには、職員は身体面でも、精神面でも健康でなければなりません。

当院では医師をはじめ看護スタッフ等すべての職種で基準を大幅に超える人員配置を行うことで、時間外勤務の最小化に努めております。

また法人全体で行う朝の全体会議、職場単位のさまざまな形のスタッフミーティング、個別の患者さんに対しての多職種医療チーム単位のミーティング等、スタッフが孤立しないよう、また常に教育的な環境を維持できるよう配慮した取り組みを行うことにより、スタッフの精神的な面をサポートします。

この取り組みは心理社会的アプローチとして患者さんに対して病棟生活のさまざまな場面や、精神療法、集団精神療法、精神科作業療法、SST等専門療法でも実践されております。

専門研修プログラム

こころの医療センター五色台連携施設 精神科専門医研修プログラム

～地域に暮らす、すべての精神障害者、またその家族のニーズに応えることのできる精神科臨床専門医を目指して～

プログラムの特徴

「こころの医療センター五色台」では入院治療、外来治療ともに多職種連携の医療チームを構成し治療に当たります。本プログラムでは、精神科医療の臨床の現場で必要とされる知識や技術は基より、精神科医療と真摯に向き合うプロフェッショナルマインドを持つ精神科医を育成することを目的としています。

「こころの医療センター五色台」を中心に当法人の関連医療施設である児童・思春期の専門外来を有する「五色台クリニック」をはじめ、法人内の精神障害者 社会復帰施設、リハビリ施設、介護施設と連携し、児童・思春期から高齢者まで、さまざまな年齢層のさまざまな疾患の症例を経験することができ、精神科急性期から、回復期、退院後の社会復帰や、リハビリ、就労まですべての病期に関わることができる機会を経験することができるようになっています。入院期間のみならず、退院後の社会復帰に向けたリハビリの期間もその患者さんと関わることにより、長期的な視野を持って精神科医療を提供できる医師となることを目指します。

取得可能なサブスペシャルティ
日本精神科医学会（認知症臨床専門医・精神科領域上級医）、日本集団精神療法学会（グループサイコセラピスト）

連携施設
五色台クリニック
香川大学医学部付属病院
のぞえ総合心療病院
のぞえの丘病院
さっぽろ香雪病院
東京都立松沢病院
東京医科大学病院

研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	こころの医療センター五色台											
2年次	香川大学医学部附属病院											
3年次	こころの医療センター五色台			五色台クリニック			こころの医療センター五色台					

地域連携研修プログラムとして福岡県「のぞえ総合心療病院」「のぞえの丘病院」北海道「さっぽろ香雪病院」東京都「東京都立松沢病院」・「東京医科大学病院」への研修ローテーションも用意しております。

※単科精神科病院・大学病院・クリニックを軸として精神科専門研修を行う
※専攻医のニーズに応じて柔軟なパターンを選択可能とするが、いずれの場合も専攻医研修マニュアルに沿って年度ごとの到達目標が達成できるようにする

週間スケジュール（例）

	午前	午後	セミナー等
月	全体会議 外来業務（院長陪席） （DNC患者診察）	病棟業務 指導医と共に診察 ECT見学	4月 オリエンテーション 5月・12月・2月 坂出市医師会臨床談話会 6月 日本精神神経学会学術総会 7月 日本アルコール関連問題学会 8月 日精協地域認知症フォーラム 9月 四国4大学研修会 日本精神科医学会 10月 日本児童青年精神医学会 日本精神科救急学会学術総会 11月 中国四国精神神経学会演題発表 日本精神科医学会参加 日本アルコール・アディクション医学会 日本精神科救急学会ECT講習会 1月 精神保健福祉業務研修会 3月 集団精神療法学会 五色会研究発表 ※日本精神神経学会総会及び日本精神神科医学会以外の学会、研修会については専攻医の申請により参加を決定する
火	全体会議 行動制限最小化委員会 集団精神療法	病棟業務 院内断酒会	
水	医局会 全体会議 救急病棟（院長回診同行） 医局カンファレンス	病棟業務 入院患者ケース会議 集団精神療法抄読会	
木	全体会議 医療安全対策カンファレンス委員会 緩和ケア委員会 ECT委員会	病棟業務 DNC患者ケア会議 プシチェック（1回/月）	
金	全体会議 外来業務（指導医外来陪席） 精神科作業療法/SST見学	病棟業務 ECT見学 指導医との面談（症例の検討）	

募集要項

[募集予定数] 3名
[応募資格] 2年間の初期臨床研修修了者または令和5年3月末までに初期臨床研修修了見込みの者
[選考方法] 一次判定は書類選考で行います。そのうえ二次選考は面接を行います。
[待遇] 970,000円（諸手当込み）
※当直手当・日直手当除く
[社会保障] 雇用・労災・健康・厚生
[勤務時間] 8:30～17:30（休憩60分）
[当直] 当直:55,000円/回
日直:60,000円/回
※月当たりの回数は医師の配置数等により変動し、お願いしない場合もあります。
[宿舎] なし

専門研修プログラムに関する書類提出先・お問合せ先

〒762-0023 香川県坂出市加茂町963番地　こころの医療センター五色台　玉川 真一郎
TEL:0877-48-2700　FAX:0877-48-2886　https://goshikidai.or.jp

研修医からのMessage

井手 雅紀　鳥取大学卒／福岡県出身　専門研修2年目

児童・思春期や措置入院などの症例も豊富でさまざまな経験を積むことができる当院に幸運にも採用していただきました。新人精神科医ゆえに戸惑うことも多いですが、当院の特性のおかげで自分なりに業務に励めています。職務中は忙しく立ち回ることもありますが、オンオフがはっきりしており、休日は家族とゆっくり過ごしたり自分の勉強に勤しんだりすることが可能です。

また、精神科単科としてはかなり医師数が多く経験豊富な先生にも年次の近い先輩にも気軽に相談できる雰囲気があります。優秀なスタッフさんが優しく接してくれる点も非常に助かっています。

私生活を確保しつつ、医師としての研鑽もきちんと積んでいきたいと思われる方にはぜひ当院で一緒にご勤務いただきたいと思います。

香川県の臨床研修・専門研修に関する 取り組み

香川県では安心して研修に取り組んでいただけるよう
県全体でキャリア形成を支援しています。

香川県地域医療支援センター

香川県地域医療支援センターは、医師のキャリアステージに対応した体系的な医師確保対策を、大学・医師会・関係医療機関と連携しながら実施します。

同センターのホームページでは、医師を目指す高校生・医学生・研修医・若手医師など、対象者別の情報を掲載したり、香川県での就業に関心のある方々の就業相談等を行っています。

当ホームページに登録していただいた皆さんに、いち早く香川県からの情報をメールマガジンでお知らせします。

香川県地域医療支援センターへの登録

まずは、地域医療支援センターにアクセスし
登録を行ってください。

https://dr-kagawa.com/

香川県地域医療支援センター　検索

ご登録いただいた医師・医学生の方には…

メールマガジン等で
香川県の医療情報や
地域情報をお届けします。

香川県内の公的医療機関の
詳細な求人情報を
ご覧いただくことができます。

希望により就業についての
個別相談を
お受けいたします。

**メルマガで
香川県の取り組みをお知らせ!**

月一回程度、香川県内の病院情報やイベント、県の取り組みなど、
香川県の地域医療情報がまるごと分かるメールマガジンを配信しています。

医学生への支援

香川県臨床研修病院協議会

県、県医師会及び県内全ての臨床研修病院で「香川県臨床研修病院協議会」を組織し、臨床研修医の確保等に向けた各種事業を実施しています。

県外合同説明会への参加

レジナビフェアなどの病院合同説明会に参加し、広く県内病院の臨床研修をアピールしています。

情報発信

地域医療支援センターHPや、医学生・若手医師向けの専用情報webサイト等を活用し、香川県の魅力を発信しています。

病院見学旅費支援

県外在住の医学生が、香川県内の臨床研修病院を見学した場合の旅費を補助します。(上限1万円)

病院を見学 → 見学終了後、領収書と一緒に申請書類を提出 → 県から見学にかかった旅費を支給

詳しくは、地域医療支援センターホームページをご確認ください。

専攻医への支援

研修奨励金の支給

県内の専門研修基幹施設が作成した専門研修プログラムのうち、6領域(内科、外科、小児科、救急科、産婦人科及び総合診療)のプログラムに登録し、県内の医療機関で研修を行う専攻医を対象に研修奨励金を支給しており、県内での専門医資格の取得を支援します。

専門医研修資金貸付事業

香川県以外で初期臨床研修を修了後(※)、県内の専門研修基幹施設が作成した6領域(内科、外科、小児科、救急科、産婦人科及び総合診療)の専門研修プログラムに登録し、県内の医療機関で研修を行う専攻医に対し、研修資金の貸し付けを行っています。

貸し付けた研修資金については、専門研修修了後、県内の指定専門医療機関で一定期間勤務した場合、返還が免除されます。

(※)産婦人科・救急科の専攻医は、香川県内で臨床研修を修了した医師も貸付の対象としています。

香川県の医療に関するデータ

医師数
全国13位
人口10万人当たり296.5人

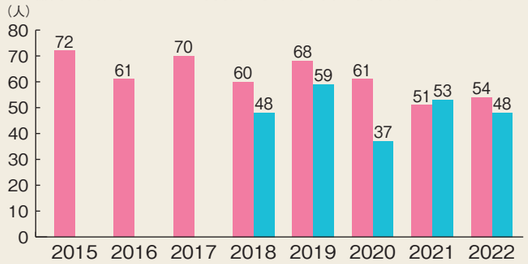
看護師数
全国13位
人口10万人当たり1,651.5人

救急病院数
全国7位
人口10万人当たり5.1施設

救急自動車搬送所要時間
全国12位 短時間順
平均36.7分

出典:100の指標からみた香川(令和4年版)

臨床研修医マッチ者数・専攻医採用者数の状況



臨床研修医　医師臨床研修マッチング協会が公表した研修医マッチング結果
専門研修医　日本専門医機構が公表した県内の専攻医採用状況
(2015～2017年は制度なし)

その他、こんな取り組みも…

かがわ医療情報ネットワーク(K-MIX R)

K-MIX R

全国に先駆け全県的に取り組んできた「かがわ医療情報ネットワーク(K-MIX R)」は、患者さんのカルテやレントゲン画像等の診療情報を病院間でやり取りし治療に役立てる医療情報ネットワークです。

病院・診療所・薬局で行われた診療内容や検査結果を双方向に共有することができ、治療の質の向上につながります。患者さんが安心して治療を受けられるほか、重複する検査や処方が回避でき、患者さんの負担が軽減できます。また、診療行為の重複や症状の重症化が回避できれば、医療費の負担が低減します。

香川県へのアクセス

■航空機を利用した場合

東　京=(約1時間20分)=**高松**
那　覇=(約1時間50分)=**高松**

高松空港からのアクセス

高松空港=(約45分)=**JR高松駅**
◎ことでんバス　TEL:087-821-3033

高松空港=(約45分)=**JR琴平駅**
◎琴空バス　TEL:0877-75-2920

高松空港=(約50分)=**JR坂出駅**
高松空港=(約1時間15分)=**JR丸亀駅**
◎琴参バス　TEL:0877-22-9191

高松空港=(約35分)=**高速善通寺バス停**
高松空港=(約48分)=**高速観音寺バス停**
◎西讃観光バス　TEL:0875-25-1200

■JRを利用した場合

東　京=(約3時間30分)=**岡山**=(約1時間)=**高松**
名古屋=(約1時間40分)=**岡山**=(約1時間)=**高松**
新大阪==(約50分)==**岡山**=(約1時間)=**高松**
松　江=(約2時間40分)=**岡山**=(約1時間)=**高松**
博　多=(約1時間45分)=**岡山**=(約1時間)=**高松**
◎JR四国電話案内センター　TEL:0570-00-4592

■高速バスを利用した場合

東　京=(　約10時間　)=**高松**
名古屋=(約6時間50分)=**高松**
大　阪=(約3時間40分)=**高松**
広　島=(約3時間15分)=**高松**
福　岡=(　約10時間　)=**高松**
◎JR四国バス　TEL:087-825-1657
◎四国高速バス　TEL:087-881-8419
◎フットバス　TEL:087-874-7777(大阪・神戸のみ)

問合せ先

香川県健康福祉部
医務国保課 医療人材グループ

〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号
TEL:087-832-3321　FAX:087-806-0248
E-mail:imu@pref.kagawa.lg.jp

香川県地域医療支援センター
https://dr-kagawa.com/

このパンフレットは環境にやさしい「FSC®認証材および管理原材料」と、有害な物質がほとんど出ない「植物油インキ」を使用しています。また廃液の出ない「水なし印刷」で印刷しています。

2023年2月版